

奈良教育大学

大学案内 2011

NARA UNIVERSITY OF EDUCATION





奈良の地で一学び創造、

奈良教育大学の3つの柱

CONTENTS (目次)

■奈良教育大学の3つの柱	1
■学長挨拶	2
■特色ある授業・取り組み	3
■奈良から未来へ	4
■組織	6
■取得できる免許状・資格	7
■課程・コース紹介	8
■専修紹介	12
■附属施設・設備	34
■就職状況	36
■卒業生からのメッセージ	37
■就職支援プログラム	38
■履修の仕方	40
■教育実習	42
■学生生活	44
■キャンパスカレンダー	46
■サークル活動・大学祭	47
■入学状況	48
■国際交流	50
■大学院案内	51
■Q&Aコーナー	52

1 「少人数教育」による 教育・研究の充実

本学は、対話形式を重視した**学生参加型の授業**、研究室ゼミにおける**懇切丁寧な卒業論文指導**を行っています。小規模大学の特性を生かした「少人数教育」に基づく充実した指導によって、確かな学力の基盤のうえに、**コミュニケーション能力**や**プレゼンテーション能力**といった学びを創造し、その成果を発信する力を着実に身につけることができます。本学の卒業生に対するアンケート結果では、本学で学び、本学を卒業したことへの満足度が8割を超え、その理由として**学生と教員との距離が近い**ことが特に多く挙げられています。「少人数教育」は、まさに本学の特色と言えます。



学び発信。

2 「奈良・世界遺産」を 生かした教育・研究の充実

本学は、**古都・奈良**の中心に位置し、豊かな自然と世界遺産を含む多くの伝統文化遺産に囲まれています。世界中から観光客が訪れるこの地でキャンパス・ライフを送ることは、国際交流、異文化理解、日本文化理解にとって、得がたい経験となります。本学は、その利点を生かして、講義や行事、教育活動において、**奈良特有の自然環境や文化遺産**に触れ、その理解を深めるさまざまな機会を設けています。近隣の国立博物館との交流も積極的に行っています。このような体験や学習を通じて、**日本の伝統文化への理解**やそれを外へと**発信する国際感覚**を養うことができます。

3 「体験型キャリア教育」による 教育・研究の充実

本学は、全国の先導的取組として“理数科離れ”に対応した「理数科教員養成プログラム」をはじめとして、**県内各地・学校との連携**による実践的で専門性に優れたキャリア教育を充実させています。

また、教育委員会との連携により、学校教育支援活動として学生ボランティアによるスクールサポーターを学校・園へ派遣するなど教員養成大学の特性を活かした**地域への貢献活動**を行うとともに、スクールサポーターとしての力量を高めるための研修も行っています。

入学から卒業まで一貫した体験学習を含むこのような取り組みを通して、社会から要請される**実践的指導力**を育成することができます。

遷都1300年を迎えた古都奈良で、 次世代を担う教育者を育てます。

今年、藤原京から平城京に遷都して1300年にあたります。世界遺産、「古都奈良の文化財」をはじめ、歴史文化遺産の宝庫である奈良は、グローバルな視点で、豊かな人間性を育むのに最適の環境です。1888年に設置された尋常師範学校を起源とする本学は、1世紀以上の長きにわたって、奈良県をはじめとする地域の教員養成に大きな役割を果たしてきました。

現在、学級崩壊、不登校やいじめ、国際比較によって明らかになった学力の低下など、学校教育をめぐる諸問題が大きく取り上げられています。かつてないほど教育の重要性が唱えられる中で、その担い手である教員の専門職業人としての期待は大きく、教育大学の果たすべき役割と責任も、ますます大きくなっています。

このような状況を踏まえ、本学では積極的に教育改革を行ってきました。文部科学省による大学教育支援事業に本学から数多くの教育改革プログラムが採択されましたが、そのひとつに、“理数科離れ”に対応した「理数教員プロジェクト」があります。全国に先駆けた取り組みとして、2005年にスタートしたこのプロジェクトでは、県内各地の学校と連携して理数科に強い教員の養成プログラムを継続して発展させています。また、「職業意識養成プログラムのリメイク」等、実践的で専門性に優れたキャリア教育を充実させています。さらに、地域の教育委員会と連携して、学生が自主的に参加する学校ボランティア活動やスクールサポート認証制度の創設などにも力を入れており、理論面・実践面に強い教育者の養成を目指しています。

本学は、日本の大学として初めて、ユネスコ・スクール（ユネスコ協同学校）に加盟しました。ユネスコ・スクールでは、E S D（Education for Sustainable Development）の取り組みとして、地球規模の問題、人権・民主主義の理解と促進、異文化理解、環境教育などの分野での交流が期待されています。本学でも、世界遺産・文化財を切り口としてE S Dに取り組んでいますが、急速にグローバル化する社会に対応するために、E S Dは欠かせないものと考えています。

全国にある単科の教員養成大学の中で、本学は規模が小さい大学ですが、学生と教員との距離が近いというメリットを活かした「少人数教育」を重視し、学生参加型の授業や、丁寧な卒業論文の指導を行っています。規模は小粒ながらも、個性豊かな教育を目指していきたいと思えます。真摯に学問に取り組み、世界へ目を見開き、幅広い教養に裏打ちされた教育者を志す皆さんの入学を、心からお待ちしています。



学 長

長友 恒人



特色ある授業・取り組み

奈良教育大学だから、こんな**学び**ができる!!

**学校支援(スクールサポート)ボランティアで、
地域貢献と自らの実践力の向上を実現させよう!!**



スクールサポート研修・認証制度

子どもや保護者へのきめ細やかな対応がますます求められてきている今日の学校現場においては、学生や地域住民による学校支援(スクールサポート)は、もはや欠かせない存在になっています。本学には、一定の研修等を受けた学生が、スクールサポーター2級、または同1級の認証を受けることで、地域の学校現場をより効果的に支援する「スクールサポート研修・認証制度」があります。これは学生による地域貢献活動を支援する制度であるとともに、学生自身が学校現場での活動を通じて、学校理解や教師理解を深め、そして未来の教師としての実践力を高める体験型の学習支援を行う制度でもあります。

**理数ならまかせて!
理数大好き先生『Super Science Teacher (SST)』になろう!!**



SST養成プロジェクト

奈良教育大学では、理科・数学(算数)に強い教員を養成するための理数教育プロジェクトを実施しています。なるべく早期に先端科学の成果に触れるための導入教育、論理・抽象思考力を向上させるための少人数ゼミナール、実践的な教材・カリキュラムの開発、連携協力校を中心とした実際の教育現場での活動等、特色ある教育プログラムによって、優れた教育実践力と高い専門性を備えたSuper Science Teacher (SST)を養成しています。また、理数科を専攻しない学生の理数力向上のためにSSTベーシック・コースも開設しています。SSTは、子どもたちの理数科離れが叫ばれる中、理数科教育の救世主として活躍しています。

**体力も知力も食べることから始まる。
食に通じた教育者『食育リーダー』になろう!!**



教員養成大学による地域食育推進プログラム —食育オフィスの開設と食育リーダーの育成—

近年の調査では、朝食を食べる子どもと、食べない子どもの学力や体力に差が出たという結果が報告されるなど、「食育」への関心はますます高まっています。本学では、学校における食育推進のリーダーとして、教材開発をはじめ、全校の年間指導計画の作成などに力量を発揮できる人材を育成しています。食育の必要性や考え方を体系的に学ぶ一方、子ども料理教室等における調理指導や、食品加工工場での実習などを通して、食育について実践的・体験的に学びます。学生たちが作った「食育かるた」は、奈良県の小学生に広く親しまれています。

奈良から未来へ



朱雀門

奈良教育大学の所在地である奈良は、緑美しい奈良公園が広がり、歴史と文化に恵まれた、素晴らしい環境を誇るまちです。世界からも数多くの人々をひきつけてやまないこの地で、教育者に必要な知識と実践力を手に入れることは、生涯忘れえぬ経験となることでしょう。



奈良公園



春日大社



浮見堂

世界から注目を集める 国際文化観光都市

今からおよそ1300年前に古代日本の都として栄えた奈良。その最盛期には、唐をはじめ渤海・新羅など異国の人たちの来訪もありました。現代においても毎年国内外から多くの人々が訪れ、日本を代表する観光都市の一つといえるでしょう。特に外国人観光客は、国が勤める「ビジット・ジャパン・キャンペーン」効果もあり、増加傾向となっています。

伝統と文化に彩られた 緑のまち

四季の移ろいが生み出す美しい奈良公園の風景に彩られた古都、奈良には、世界遺産をはじめ、数多くの有形・無形の文化財が残されており、歴史の情緒を感じることができます。この地で青春時代の一コマを過ごすことは、若い人たちの感性を磨き、人生をしながらに生き抜いていくための豊かな土壌となるはずです。

京都・大阪にも近い 絶好のロケーション

京都・大阪という大都市に直結した絶好のロケーションにあるのも、本学の長です。ほんの少し足を延ばすだけで、これらのそれぞれに特色のある都市で学びに役立つ刺激に触れることが可能です。関西の豊かな歴史と文化は、多感な学生時代をきっと充実したものにしてくれることでしょう。

組 織

奈良教育大学

教育学部

課 程	コ ー ス	専 修	入学定員
学校教育教員養成課程	教育・発達基礎コース	教 育 学 専 修	44人
		心 理 学 専 修	
		幼 年 教 育 専 修	
		特 別 支 援 教 育 専 修 (生活科教育専修)	
	言語・社会コース	国 語 教 育 専 修	39人
社 会 科 教 育 専 修			
英 語 ・ 国 際 理 解 教 育 専 修 (生活科教育専修)			
理数・生活科学コース	数 学 教 育 専 修	39人	
	理 科 教 育 専 修		
	技 術 教 育 専 修		
	家 庭 科 教 育 専 修 (生活科教育専修)		
身体・表現コース	音 楽 教 育 専 修	44人	
	美 術 教 育 専 修		
	保 健 体 育 専 修 (生活科教育専修)		
地域推薦 (コース/専修は自由選択)			14人
総合教育課程	文化財・書道芸術コース	古文化財科学専修	35人
		文化財造形専修	
	環境教育コース	地 域 環 境 専 修 自 然 誌 専 修	20人
科学情報コース	情 報 数 理 専 修 物 質 科 学 専 修	20人	
合 計			255人
大学院 教育学研究科 (修士課程)			50人
(専門職学位課程 (教職大学院))			20人
特別支援教育特別専攻科 (情緒障害・発達障害教育専攻)			15人
学術情報研究センター (図書館・情報館・教育資料館)			
教育実践総合センター			
保健管理センター			
自然環境教育センター (奈良実習園・奥吉野実習林)			
特別支援教育研究センター			
理数教育研究センター			
附属中学校・附属小学校・附属幼稚園			
事務局			

取得できる免許状・資格

※平成22年度教育課程に基づく免許・資格を掲載しています。

1. **学校教育教員養成課程** 卒業要件単位で次の2種類の教員免許状を取得できます。所要の単位を追加修得することで、高等学校教諭（※）、養護教諭の教員免許状も取得可能です。

コース	専修	教員免許状の種類
教育・発達基礎	教育学	小学校一種と〔中学校一種、幼稚園一種、特別支援学校一種（知的障害者に関する教育の領域）(肢体不自由者に関する教育の領域)（病弱者に関する教育の領域）〕の内から1つを選んで計2種類
	心理学	
	幼年教育	小学校一種と幼稚園一種の計2種類
	特別支援教育	特別支援学校一種〔（知的障害者に関する教育の領域）（肢体不自由者に関する教育の領域）（病弱者に関する教育の領域）〕と〔小学校一種、中学校一種〕の内から1つを選んで計2種類
言語・社会	国語教育	小学校一種と中学校一種（国語）の計2種類
	社会科教育	小学校一種と中学校一種（社会）の計2種類
	英語・国際理解教育	小学校一種と中学校一種（英語）の計2種類
理数・生活科学	数学教育	小学校一種と中学校一種（数学）の計2種類
	理科教育	小学校一種と中学校一種（理科）の計2種類
	技術教育	小学校一種と中学校一種（技術）の計2種類
	家庭科教育	小学校一種と中学校一種（家庭）の計2種類
身体・表現	音楽教育	小学校一種と中学校一種（音楽）の計2種類
	美術教育	小学校一種と中学校一種（美術）の計2種類
	保健体育	小学校一種と中学校一種（保健体育）の計2種類
	生活科教育	小学校一種と〔中学校一種、幼稚園一種〕の内から1つを選んで計2種類

※高等学校教諭一種免許状(国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、保健体育、工業、家庭、英語)

2. **総合教育課程** 卒業要件単位以外に所要単位を追加修得することで、次の教員免許状が取得可能です。

コース	専修	教員免許状の種類
文化財・書道芸術	古文化財科学	高等学校一種(理科)・中学校一種(理科)
	文化財造形	高等学校一種(美術)・中学校一種(美術)
	書道芸術	高等学校一種(書道)
環境教育	地域環境	高等学校一種(地理歴史)・高等学校一種(公民)・中学校一種(社会)
	自然誌	高等学校一種(理科)・中学校一種(理科)
科学情報	情報数理	高等学校一種(数学)・中学校一種(数学)・高等学校一種(情報)
	物質科学	高等学校一種(理科)・中学校一種(理科)・高等学校一種(情報)

3. 各種資格について

卒業要件単位以外に各資格についての所要単位を追加修得することで、取得可能です。社会教育主事、学校図書館司書教諭、保育士（学校教育教員養成課程教育・発達基礎コース幼年教育専修の学生に限り適用）、博物館の学芸員、スポーツ指導者及び認定心理士（学校教育教員養成課程教育・発達基礎コース心理学専修の学生に適用）の資格を取得するための単位を取得することができます。

学校教育教員養成課程

■ 学びのねらい（教育理念）

学校教育教員養成課程は、小学校、中学校、幼稚園、特別支援学校という学校種別の枠を越えて、幼児・児童・生徒の発達を基軸にすえた幅広い実践的指導力をもった教員を養成する課程です。主に次の4つの力量の形成をめざします。

- 1) 義務教育を幅広く見渡し、学校種に柔軟に対応できる教育的力量
- 2) 授業・教育指導のための実践的力量
- 3) 問題をかかえる子どもたちに対する臨床的力量
- 4) 現代的課題への積極的な対応力

■ アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

豊かな基礎学力と幅広い問題への関心の中に、自分の探求したい得意分野がある人。子ども（人間）への関心・共感をもっている人、教育に対する問題意識と教職への意欲がある人を望んでいます。

■ 求める学生像

◆ 教育・発達基礎コース

- 教育学・心理学・幼年教育・特別支援（障害児）教育の領域について、自らの問題意識のもとに積極的に探求する意欲のある人
- 教育や発達に対して、幅広い興味や関心をもっている人
- 子どもの生活や活動を見つめ、成長を支援しようとする人

◆ 言語・社会コース

- 人文・社会の分野全般に広い関心と問題意識をもっている人
- 日本語・日本文化や異文化理解に興味と関心をもっている人
- 社会的存在としての人間（子ども）に関心をもっている人

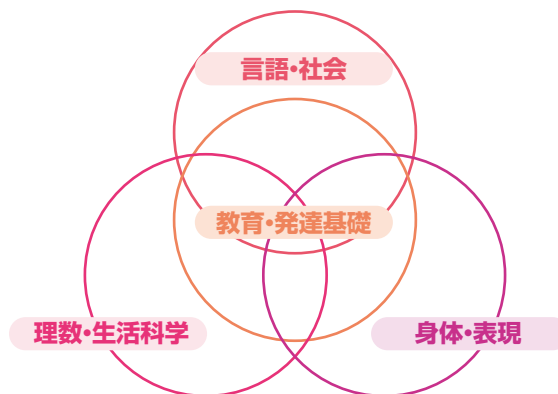
◆ 理数・生活科学コース

- とりわけ理系教科に興味・関心があり自ら学ぼうとする学習意欲のある人
- 広く他の分野についても興味や関心あるいは問題意識をもっている人
- 子どもの中に芽生えた発想やその子の考え方を見極め大切にできる人

◆ 身体・表現コース

- 音楽、図画工作・美術、保健体育といった教科に特に興味・関心があり自ら学ぼうとする学習意欲のある人
- 広く教育や社会について興味・関心を持ち、問題意識をもっている人
- 児童・生徒の芸術活動やスポーツ活動を振興し豊かな社会をつくりあげようとする意欲のある人

4つのコース



■ 4年間のライフ・コース

1回生

高校までの学習を「現代の教養」という視点から深めつつ、学校教育に関する専門教育が始まります。学校教育基礎ゼミナールを通して、課程全体の仲間や担当教員と直接的な出会いをもちます。

2回生

学校教育についての全体的な学習がさらに広がり、専修の教科学修が増加します。また教育活動の基礎を培う7日間の介護等体験を行います。

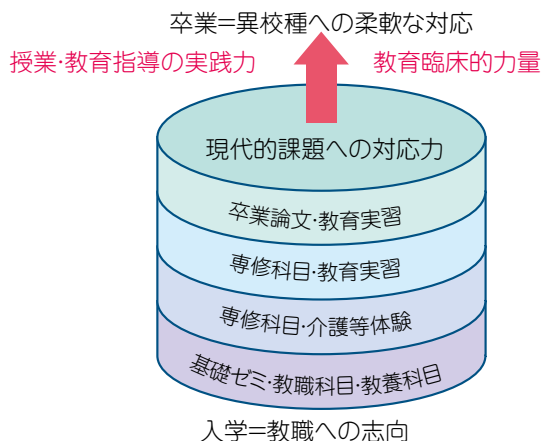
3回生

前期には教育実習の事前指導が、後期には4週間の教育実習が始まります。教員養成課程の学生として、様々な子どもとの新鮮な出会いを体験し、実習授業と苦闘しながら人間的にも飛躍を遂げていきます。

4回生

前期にはもう1種類の教育実習を2週間行います。また、少人数のゼミナールをもとに、大学での学修の総まとめとしての卒業論文を作成し、新たなる出発のための力を磨きます。

4年間のライフコース



コース紹介(理念と目的)

教育・発達基礎コース

専修の目次はこちら



玉村 公二彦
特別支援教育専修 教授

教育・発達基礎コースは、子どもの発達や学校教育を対象として、教育科学や人間科学の視点に立ち、子どもを指導し援助する力量を持つ教員の養成をめざしています。小学校、中学校、幼稚園、特別支援学校といった種別を越え、学校教育について多様な面から考えるという特徴があります。本コースでは、専修によって若干の違いがありますが小学校、中学校、幼稚園、特別支援学校、保育士、社会教育主事の免許・資格を取得することができます。

- 教育学専修 P12
- 心理学専修 P13
- 幼年教育専修 P14
- 特別支援教育専修 P15

言語・社会コース

専修の目次はこちら



森 伸宏
社会科教育専修 准教授

人間は、言葉を通して考え、コミュニケーションを重ねることで文化や社会を育んできました。本コースは、そういった言語や社会に関する問題の総合的な理解を踏まえ、広い視野に立って教育活動を行うことのできる教員の養成を目指しています。卒業時には、小学校と中学校（国語・社会・英語から1つ）の一種免許を取得することができます。

- 国語教育専修 P16
- 社会科教育専修 P17
- 英語・国際理解教育専修 P18

理数・生活科学コース

専修の目次はこちら



石田 正樹
理科教育専修 教授

理数・生活科学コースでは、数学、自然科学、技術、人間生活に関する事柄、及びそれらの学習指導法について学びます。観察・実験、理論的考察を通して、論理的な見方、考え方を育成する中で、教育についての自らの理想を育み、学んだ知識を教育の現場で創造的に生かせる実践的指導力に優れた教員を育てることを目指しています。

- 数学教育専修 P19
- 理科教育専修 P20
- 技術教育専修 P21
- 家庭科教育専修 P22

身体・表現コース

専修の目次はこちら



西野 慎二
美術教育専修 教授

学問とか教育以前に、私たちは生れてどの様に成長し育てられてきたでしょうか。おそらく、声を出して感じたことや見えたことに反応して動作をする、1,2と歩いたことに親は喜び、曲やリズムで体を揺らし歌い、クレパスでなぐり描き・泥団子の自由な表現に、うちの子は、天才だ！と。健やかな心身の発達を喜んだだろう。人間本来の持っている体を使っての本能の行動表現、五感が、すべての学問、教育の根源になっていることを見失ってはいけない。音楽・美術・保健体育のセンス表現力は、次世代にわかりやすく面白く奥深い学校教育者を育成する源です。志ある学生の入学を期待します。

- 音楽教育専修 P23
- 美術教育専修 P24
- 保健体育専修 P25

- 生活科教育専修 P26

各専修については、本学ホームページ上でも紹介しています。

総合教育課程

■ 学びのねらい（教育理念）

総合教育課程は、21世紀にふさわしい学際性と総合教育的視野をもって、学生の豊かな感性と資質・能力を培う新時代対応型の課程として設置され、多様な今日の広域的かつ緊急な課題や要請に対し、それに応えられる思考能力や専門知識と技術を修得し、表現能力や創造的精神の旺盛な学生を育成することを目指しています。

■ アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

コースまたは専修に関する分野の基礎学力、あるいは技量に優れていることが望ましい資質であるとともに、明確な目的意識をもち、意欲をもって果敢に努力する学生であること。また国際社会や地域社会において積極的に貢献する豊かな人間性・社会性などをもつ学生を望んでいます。

■ 求める学生像

◆文化財・書道芸術コース

- 世界的な文化遺産と伝統文化に恵まれた奈良で、文化財の研究と書道芸術を学びたい人
- 自然科学をベースにして、古文化財の分析・解析などに強い関心のある人
- 文化財の美術工芸史・保存・修復・復元などの造形表現力を学びたい人
- 書道芸術の魅力进行分析研究し、その成果を幅広く表現したい人

◆環境教育コース

- 21世紀の環境問題に関心をもち、自然環境や地域社会の特質を学びたい人
- 地域の生活、文化および自然環境の問題に取り組みたい人
- 自然のなかで、自分の目や手足を使ってフィールド・ワークし、自然環境の理解を深めたい人

◆科学情報コース

- 多彩な情報化社会に対応する数理科学・自然科学などを学びたい人
- 数学と情報科学、およびそれに関連する話題などを学びたい人
- 理科の視点から「ものをつくる」「ものをしる」ことに興味と関心のある人

■ カリキュラムの特色

本課程は、次ページの紹介に見るような3コース（文化財・書道芸術、環境教育、科学情報）によって構成されています。本課程には、他大学に誇りうる3つの大きな特徴を備えています。

◆第1の特徴「総合教育基礎論」

入学直後半年間にわたる、本課程学生全員が一堂に会して受講する本学独自の授業です。年度ごとの担当教員は変わりますが、3コース7専修全てから、今日的マクロ的な問題と関わらせた「総合教育」の課題と獲得すべき能力（思考力・表現力・行動力・想像力）を学生とともに共同探求する実験的授業です。

◆第2の特徴「総合教育基礎ゼミナール」

本課程を構成する3コースは、各々2～3の専修によって成り立ち、入学後1回生時1年間にわたるこの授業によって、コース単位の基礎的教養・知識・技術・感性を養うことになっています。

この「総合教育基礎ゼミナール」は、ほぼ10数名単位の恵まれた少人数形式のゼミで、各コースの教員が、学際的今日的課題意識に立つ実験的対話的な授業を皆さんとともに展開するカリキュラムとして、先行の「総合文化科学課程」以来、定評を得ている授業です。

◆第3の特徴「総合フィールド演習」

各コース・専修単位にあつての、実践的・技術的・広域的・応用的なフィールド性をもったいわゆる専門課程の授業です。例えば、文化財発掘現場や企業・自治体での社会性実証性をもった具体的現実的なインターンシップ性を根幹とする演習となっています。

しかもこの「総合フィールド演習」は、教員免許取得科目ないしこれに準じる科目として、本課程にあつて、学際性や総合教育性を備えた教師志望の学生の要望に積極的に応えるものとなっています。



（写真）自然誌専修の野外実習「地学巡検」での一コマ

コース紹介(理念と目的)

文化財・書道芸術コース

専修の目次はこちら



豊田 宗児
書道芸術専修 准教授

シルクロードの終着点である奈良は、2000年の長きにわたって数々の文化と芸術を育んできました。この奈良の地の特色としての伝統文化を学際的に研究するため、文化財と書道芸術を一つのコースとしました。わが国の伝統文化の継承・発展、文化財の分析という課題に取り組み、伝統文化と文化財の息づく奈良の地において、文化の発展拠点となり、幅広い視点から身につけた知識と技術を社会に活用・貢献できる人材の育成を目指します。

- 古文化財科学専修 P27
- 文化財造形専修 P28
- 書道芸術専修 P29

環境教育コース

専修の目次はこちら



松井 淳
自然誌専修 教授

人類とそれを取り巻く環境は多くの矛盾を抱え、その基礎が揺らいでいます。21世紀の環境問題を考え行動する上で、自然環境と社会環境の双方の特質に関する深い理解が必要です。

本コースでは、人間を取り巻く自然環境を自然科学的な視点から(自然誌専修)、そして人間の活動と人間相互の関係を社会科学的な視点から(地域環境専修)学び研究しています。大都市圏にありながらなお多様な自然を有し、豊かな歴史・文化を誇る奈良とその背後に控える紀伊半島を活動の拠点とし、フィールドワークを積極的に取り入れつつ、時間的・空間的変遷を踏まえた調査と分析を行います。

以上の研究をつうじて、将来、環境教育、行政、環境調査といった人と環境の在り方に関わる様々な現場で活躍するための知識と技術を身につけていきます。

- 地域環境専修 P30
- 自然誌専修 P31

科学情報コース

専修の目次はこちら



梶原 篤
物質科学専修 准教授

科学情報コースでは情報化する現代社会に積極的に対応するために数理科学、自然科学を基礎から学ぶためのコースです。

1年次から2年次にかけては、コース共通科目が展開されます。コースの担当者はそれぞれ数学、情報、物理、化学の専門家ですので、それに応じた内容の講義が展開されます。共通科目では情報数理、物質科学に共通する考え方を身につけるとともに専門科目を概観します。2年次以降では情報数理、物質科学の各専修に分かれ、専門科目を学んでいきます。

3年次以降には選択科目も増え、履修内容もより専門的になってきて、数学、情報、物理、化学など自分が中心に学びたいものを選んで、履修します。4年次にはそれまで学んだことの集大成としての卒業研究があります。また、専門的な講義は共通に履修することが可能ですから、分野における専門性を身につけながら、素養としての『情報』や『物質科学』も幅広く身につけることができるようなカリキュラムになっています。

- 情報数理専修 P32
- 物質科学専修 P33

各専修については、本学ホームページ上でも紹介しています。

教育学専修

教育学についてやりたいことをしっかり見つめて、じっくり選んで、とことん学べます。

学びのポイント

1 他人に変えられるのではなく、自ら変わるために

「人は変えられるのは嫌だけれども、変わるの嫌ではない」って言います。「今こそ変わろう、よりよくなりたい」と思ったことはありませんか？「じゃあ、どうする」ということを歴史的総合的に考え、多面的に実践します。



2 小学校教諭+中学校教諭の各教科の免許取得が可能、幼小連携や特別支援もOK

「これをやりたい」と思ったが、案外面白くなかった、ということもあるでしょう。この専修では、教育学について「ひろく」学びながら、深めたい分野を決めて、その分野について興味をもって「ふかーく」学ぶことができます。



3 学校や地域と連携して確かな視野と指導性をもった人になろう

学校や公民館など（社会教育施設）を訪れて、実際の教育実践に触れたり、地域での子どもの居場所づくりの活動にわりながら、学校とのつながりを考えることもできます。理論と実践を結びつける機会がたくさんあります。

■指導教員および専門分野

井深 雄二 教授（教育経営学、教育財政論）
近・現代における日本の教育費政策に関する歴史的研究
渋谷 真樹 准教授（教育社会学、異文化間教育）
多文化社会に生きる子どもたちのアイデンティティ形成
片岡 弘勝 教授（生涯学習、社会教育）
地域づくりと生涯学習・社会教育の関連に関する研究

学びの領域



主な開講科目

・教育史特講 ・生涯教育文化特講 ・教育方法学演習 ・教育経営学特講 ・生涯教育演習 ・教育社会学特講 ・教育基礎特講

取得できる免許状・資格

●小学校教諭1種 【●中学校教諭1種、
●幼稚園教諭1種、●特別支援学校教諭1種】の内、1つを選択
中学校教諭1種はどの教科の免許状でも取れます。
（「取得できる免許状・資格」のページ・P7参照）

卒業後の主な進路

本専修の卒業生の多数が、学校の先生、特に小学校の教員（養護教員を含む）になっています。

また、生涯学習に関する財団法人に就職したり、企業に就職する人や大学院に進学する人もいます。

在学生の声



4回生 木村 愛さん

教育学専修では、教育について様々な視点から幅広く学ぶことができます。教育社会学、生涯学習、教育方法学などを学ぶ中で、家庭環境と教育の関係や、国際比較、授業を分かりやすくするメディアの効果、社会教育とのつながり等、「こんなことも教育と関わっているんだ」、「こんな視点から教育を考えることができるんだ」と気づくことがとても多くあります。また、様々な専門分野の先生方から、所属研究室を越えて教わることができ、教育とは何かを深く考えることができます。

以上のように、幅広く教育全体について学び、教育において「大切なこと」を根本から考えることができるというのが教育学の魅力だと思います。

心理学専修

児童期、青年期にわたる児童・生徒の心理を大切にして、子どもの育成を目指す学校教育のプロを育てます。

学びのポイント

1 小学校教諭と中学校教諭等、複数免許が取れる

小学校から中学校にかけての様々な指導や心理面での発達を考慮できる専門的知識や技能をもち、個性を生かせる教師をめざします。



2 心理学検査や心理学実験をはじめとする専門科目を通して、こころをみつめる姿勢を学ぶ

教師は、子どもの心理を十分理解する力が必要です。豊富な実験や演習の授業を設け、こころをみつめる姿勢の育成をめざしています。



3 地域の学校でのスクールサポートで実践を深め、地域とつながる

十分な準備をした後に、奈良市内の小学校、中学校、高等学校へ「スクールサポーター（補助員）」として出向き、実際の児童・生徒の実態を体験する機会を得ることもできます。



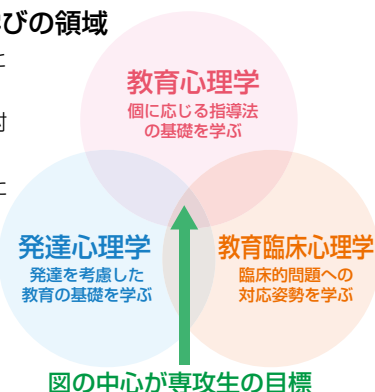
指導教員および専門分野

豊田 弘司 教授（教育心理学）
記憶・学習に関する実験的研究及び対人関係の調査的研究
藤田 正 教授（発達心理学）
認知発達及び自己調整学習に関する実験的・調査的研究

学びの領域

心理学を背景とした学びの領域

教育、発達、教育臨床という3領域の学びによって、児童・生徒への実践的な対応能力の土台が形成され、心理学的視点を背景とした指導力が生まれてきます。



主な開講科目

- ・教育心理学 ・教育相談 ・心理学研究法 ・認知発達特講
- ・教育心理学特講 ・教育臨床心理学特講 ・心理学概論
- ・心理学検査Ⅰ、Ⅱ ・心理学実験

取得できる免許状・資格

- 小学校教諭1種 [●中学校教諭1種
 - 幼稚園教諭1種, ●特別支援学校教諭1種] の内、1つを選択
- 中学校教諭1種はどの教科の免許状でも取れます。
（「取得できる免許状・資格」のページ・P7参照）

卒業後の主な進路

小学校・中学校教諭が主な進路です。例年、卒業生の約半数が全国の公立小学校に勤務しています。その他、大学院に進んで心理学の専門職（心理判定員等）をめざす卒業生もいます。

在学生の声



4年生 吉川 真依さん

幼稚園のときに出会った先生は、いつも子どもたちの心の状態を理解しようとしてくれました。この温かく思いやりのある先生に惹かれ、私も教師を目指すようになりました。奈良教育大学の心理学専修では、子どもの発達や学習、心のケアなど、様々な場面に対応できるスキルを磨けます。そして、心理学概論や心理学検査などの専門科目が少人数で開講されていることが、大きな魅力です。実際に検査などを行うことで、心理学の基礎から応用までの様々な知識を習得できます。これらの授業で習得した知識や技術は、子どもを理解する上で大切なものです。これからも、将来教師になってから活かせるように心理学における知識を深めていきたいと思っています。

幼年教育専修

誕生から、乳幼児、児童期にわたる子どもの発達を見通せる保育と教育のプロを育てます。

学びのポイント

1 幼稚園教諭と保育士、小学校教諭の3つの免許・資格が取れる

幼稚園・保育所・小学校といった保育・教育機関の種別を越えて、子どもの発達と教育を長いスパンから捉え、支える保育者や教師をめざします。



2 からだとところを動かし、理論と実践を学ぶ

保育者・教師は、自分の思いや知識・技術などを子どもたちに伝える仕事です。そのため、「聞く・見る」といった講義形式の授業だけでなく、「語る・歌う」など、演習・実習形式の授業によって、身体を使って表現し、学びを伝える経験を重ねます。平成19年度に採択された文部科学省専門職大学院等プログラム「幼保GP」でも、こうした学習の効果が学生たちの確信になりました。



3 学外で実践を深め、地域とつながる

奈良市内の幼稚園で保育の補助を行う「スクールサポート」、絵本をもって近隣の保育園や小学校に出かけ、子どもたちと絵本をよみあう「出張えほんのひろば」など、学内で学んだことを実践する場が、学外にも開かれています。



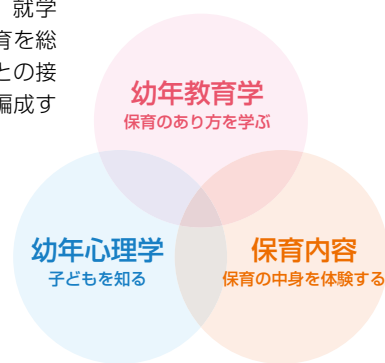
■指導教員および専門分野

瓜生 淑子 教授 (幼年心理学)
乳幼児の言語・社会性・自我の発達及びそれらの相互関係の研究
横山 真貴子 准教授 (保育内容)
乳幼児の萌芽的読み書き能力の発達 (絵本・手紙) についての研究

学びの領域

子どもを知り、保育のあり方を学ぶ3つの領域

右図の3つの領域から、就学前期の子どもの発達と教育を総合的に捉え、小学校教育との接続を意識した教育内容を編成する視点を養います。



主な開講科目

・幼児と教育 ・幼児理解 ・幼児と言葉 ・幼児の音楽表現
・保育実践指導論 ・児童福祉論など

取得できる免許状・資格

●幼稚園教諭1種 ●小学校教諭1種 ●保育士
(「取得できる免許状・資格」のページ・P7参照)

卒業後の主な進路

幼稚園教諭・保育士が主な進路です。多くの卒業生は、公立の幼稚園・保育所や小学校に採用されています。その他、学童指導員など、子どもの育ちを支える教育の現場に活躍の場は広がっています。

在学生の声



4回生 中村 恵さん

幼年教育専修では、幼稚園・小学校の教員免許に加えて、必要単位を履修すれば、保育士の資格を取得することができます。その際、欠かせないのが教育・保育実習です。

私は在学中に、幼稚園に4週間、小学校に2週間、保育所に10日間(夏・春2回)、施設に10日間、教育・保育実習を経験しました。こんなに多く実習に行き、現場で経験が積めるのは、幼年教育専修の特権です。

どの実習ももちろん楽ではありませんが、授業で学んだ理論を現場で活かす術を知ることができる素晴らしい経験です。また、自分に足りないものは何なのか、もっと伸ばしていける自分の長所はどこなのかを見つめ直すことができる、とても実りあるものです。

ぜひ、幼年教育専修で、保育者として必要な理論とともに、実践力も身につけて欲しいと思います。仲間と一緒に頑張りましょう!!

掘越 紀香 准教授 (幼年教育学)
幼児の仲間関係、幼保小連携についての研究

特別支援教育専修

障害や発達上の困難をもちながら生きる子どもと家族によりそい、そのねがいに応える教育者に。

学びのポイント

1 発達と障害をとらえ、子どものねがいにせまる

障害などをもつ子どもは、私たちと異なる特殊・異質な存在ではなく、私たちと共通の人間のねがいをもちながら、その実現のために特別な支援を必要としている存在です。そのねがいにせまるために、子どもの発達と障害を的確に捉える眼と、子どものねがいに応える教育実践を構想する力量を培います。



2 教育や発達支援の実践に学び、実践を創る

障害児教育現場への観察・参加や教育実習、教育・発達支援の現場に出向いての卒業研究など、現場に出向き、そこでの実践に参加する中で学びを重視しています。ボランティア活動や研修旅行など正規の課程外での現場体験も、学生諸君の創意を生かしつつ、広くとりくまれています。



3 幼児期から学校卒業後までを見通した一貫性のある教育支援の探求

本専修では、基礎免許状としての小学校または中学校の免許状と特別支援学校免許状を取得するほか、幼稚園免許、養護教諭免許などを取得する人もいます。こうした多彩な学びは、幼児期から学校卒業後までを見通した専門的な支援者を養成することにつながっています。

学びの領域

子どものねがいにせまる教育実践者のための4つの学びの領域

障害と発達を科学的にとらえるための最新の知見を学ぶ医学や心理学と、障害のある子どものねがいにせまる教育実践を創造していくための教育学、教育方法学。子どもの事実、教育実践の事実を軸に、4つの領域を関連させながら、総合的に学べるカリキュラムです。



主な開講科目

- ・特別支援教育原論
- ・発達障害の理解と対応
- ・発達障害の心理学
- ・肢体不自由の医学と心理
- ・病弱児の医学と心理
- ・知的障害教育方法
- ・重複障害教育の理論と実際

取得できる免許状・資格

- 特別支援学校教諭1種（知的障害・肢体不自由・病弱）
 - 小学校教諭1種または中学校教諭1種
- 中学校教諭1種はどの教科の免許状でも取れます。
（「取得できる免許状・資格」のページ・P7参照）

卒業後の主な進路

小学校および特別支援学校の教諭が過半数。他に養護教諭や特別支援学校の寄宿舎指導員、児童福祉、障害児者福祉の施設・事業、大学院や専攻科に進学する人もいます。

在学生の声



特別支援教育専修では、障害のある子どもの教育について様々な視点から幅広く学んでいくことができます。また、授業やボランティア活動などで子どもたちと関わる機会も多く、とても貴重な経験ができます。

特別支援教育の先生方はとてもユニークで、学生たちもみんな仲が良いので、授業も学生生活もとても楽しいです。

特別支援教育は、「教育の原点」とも言われます。私たちの専修で学ぶことは障害のある子どもの教育だけに限らず、すべての子どもに共通することであり、教師を目指す私たちにとっても大切なことです。ぜひ多くの人に特別支援教育について学んで欲しいと思っています。

4年生 松井 美裕子さん

指導教員および専門分野

岩坂 英巴 教授（児童精神医学）

発達障害への心理社会的支援法の開発と実践

越野 和之 教授（障害児教育学）

発達障害児・者の人格発達と社会的環境・教育

玉村 公二彦 教授（障害児教育方法学）

障害児教育・福祉実践の方法学研究

根来 秀樹 准教授（障害児医学）

発達障害児・者の脳科学からみた評価と支援

井上 洋平 特任講師（障害児心理学）

発達の機能連関に基づく発達障害児・者の理解と支援

国語教育専修

日本語による豊かな言語文化を背景に、児童・生徒の日本語運用能力を高めることのできる教師を育てます。

学びのポイント

1 発達段階に応じた日本語運用力の育成

国語教育専修では小学校教諭1種免許と中学校教諭1種免許（国語）、加えて高等学校1種免許（国語）を取得できます。成長とともに大きく変化する子どもたちの国語力に対応しながら、無限の可能性を秘めた子どもたちの国語力を最大限に引き出せる教師を目指します。



2 少人数・実践重視の授業

授業では個人やグループでの発表を多く取り入れ、活発な議論が行われます。少人数であるため自然と発言・発表の機会が増え、教員からもきめ細かな指導を受けることができます。また、地元奈良や周辺のフィールドを生かした学外での研修も積極的に行っています。



3 先輩達との交流の場・国文学会

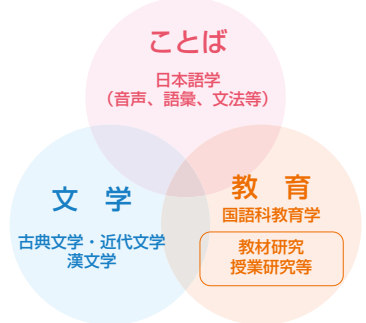
国語教育専修は、教員、学生、大学院生そして卒業生とが一体となって奈良教育大学国文学会を組織し、研究発表会の開催、機関誌『国文』の刊行を行っています。現場に出た卒業生の研究発表や教育実践報告も行われ、先輩から直接に学ぶことができます。何より人間的なつながりを大切にしています。



学びの領域

日本語を教えるプロになる上で学ぶ3つの領域

ことば・文学・教育の3領域から構成されるカリキュラム。2年までに各領域の基礎を学び、3年以降は各自が専門領域に選んだ研究室で学びを深めその成果を卒業論文にまとめます。



主な開講科目

- ・日本語学概説Ⅰ
- ・古典文学演習Ⅰ
- ・近代文学研究
- ・漢文学演習Ⅰ
- ・国語科教育学演習Ⅰ
- ・中等教科教育法Ⅰ（国語）

取得できる免許状・資格

- 小学校教諭1種
 - 中学校教諭1種（国語）
 - 高等学校教諭1種（国語）
- （「取得できる免許状・資格」のページ・P7参照）

卒業後の主な進路

小学校と中学校の教諭が主な進路です。08年度卒業生では約5割が小中学校の正規、期限付き教員として採用されました。あと約3割が大学院への進学、ほかは企業や公務員等の道を選んだ人たちでした。

在学生の声



3回生 山田 哲史さん

私の所属する国語教育専修では、少人数制による講義が多く、専門性の高いきめ細やかな指導を受けることができます。講義の内容も、ディベートや発表形式のものなど、学生同士で意見を交流するものが多くあります。そのため、学生が活発に意見を出し合い、より主体的な学びができます。また、少人数制であるために先生方との距離も近く、些細なことでも親身になって相談に乗ってくださいます。学生同士も仲が良く、先輩・後輩との繋がりも深いため、ともに学び合うことができます。このような恵まれた環境の中、私は友人と充実した学生生活を送っています。

指導教員および専門分野

- 棚橋 尚子 教授（国語科教育）
漢字指導論・「読むこと」の教育にかかわる研究
- 中谷 いすみ 准教授（国語科教育）
作文教育史・「書くこと」の教育にかかわる研究
- 加藤 久雄 教授（日本語学）
日本語の語彙・意味・文法とことばの教育に関する研究
- 前田 広幸 教授（日本語学）
日本語の音声・音韻の歴史的推移や地域的変異についての研究

- 永池 健二 教授（古典文学）
日本古典文学・歌謡史・歌謡文芸の研究
- 日高 佳紀 准教授（近代文学）
日本の近代文学をめぐる雑誌・新聞等メディアや読者の研究
- 橋本 昭典 准教授（漢文学）
孔子、老子、荘子など諸子百家を中心とする中国古代思想の研究
日本の近代文学をめぐる雑誌・新聞等メディアや読者の研究

社会科教育専修

人間と社会のあり方を総合的に学ぶことを通して、広い視野と深い洞察力を身に付けた教員を育成します。

学びのポイント

1 古都奈良の世界遺産すべてが学びの対象

奈良時代の建築も残る奈良公園・東大寺、歴史的町並み・奈良町まで大学から徒歩10分。豊かな自然と文化財に囲まれた大学で存分に学べます。



2 小学校教諭、中学校教諭のほか、高等学校教諭の免許が取れる

小学校と中学校社会に加え、高等学校地理歴史・公民の免許も取得することができます。



3 理論と実践を学ぶ

文献・各種資料（史料）、フィールドワーク、闊達な議論を通して、社会に関わる理論や教育実践について総合的に学ぶことができます。



学びの領域

社会科の教育内容と教育方法を総合的に学び、理論と実践力を兼ね備えた教員としての資質を養います。



主な開講科目

- ・地域文化論 ・日本古代・中世史 ・西洋史 ・日本国憲法
- ・経済学概論 ・倫理学概論 ・社会科教育演習

取得できる免許状・資格

- 小学校教諭1種 ●中学校教諭1種（社会）
 - 高等学校教諭1種（地理歴史） ●高等学校教諭1種（公民）
 - 学芸員 ●社会教育主事
- （「取得できる免許状・資格」のページ・P7参照）

卒業後の主な進路

年度によってばらつきがありますが、過去5年間の卒業生の進路は平均して次のようになります。

- 教員（小・中・高）：70%程度
- 大学院進学（本学・他大学）：10%程度
- その他には、公務員、塾講師、会社員、などがあります。

在学生の声



4回生 藤山 和也さん

社会科教育専修で取り扱う分野はとても多く、大学の講義でその幅広い領域の一端にふれることで様々なことを考えることができます。そして、それは今まで知らなかったことに出会うきっかけとなり、また専門的な知識を得て追求していくための第一歩になります。さらに、それぞれの追求したいことに合わせて研究室を選ぶことができます。ゼミは少人数で行われるのが基本であり、先生方との対話のなかで専門的な知識を深めていくことができます。興味のあることがあり、それを追求しようという心構えがあれば、自分を高めていける専修であると思います。

指導教員および専門分野

岩本 廣美 教授（社会科教育学）
地理教育、環境教育、子どもの遊び
竹田 有 教授（西洋史学）
アメリカ労働史及び都市史
今 正秀 准教授（日本史学）
平安時代を中心とする古代・中世史
森 伸宏 准教授（経済学）
金融論及び産業組織論

伊豆蔵 好美 教授（倫理学）
近世ヨーロッパの哲学及び倫理学の思想史的研究
佐野 誠 教授（法学）
人権の起源と歴史、ナチズム期の安楽死、ユダヤ人問題
木下 光生 特任准教授（日本史学）
日本近世の賤民史

※地理学、社会学、政治学の担当教員は、総合教育課程の地域環境専修の項参照

英語・国際理解教育専修

言語によるコミュニケーションの社会的・文化的意義を学び、国際的視野を身につけた教員を育てます。

学びのポイント

1 実践的コミュニケーション能力を培う

「読む、書く、聞く、話す」の四技能を伸ばし、実践的コミュニケーション能力を培う経験を重ねます。とりわけ、論理的思考に基礎づけられた英語表現力の養成を重視しています。大学が主催する長期海外派遣制度にも参加を促しています。



2 言語の本質と異文化理解について学ぶ

人間の言語にはどのような特徴があるのか、また異文化理解とは何か、どうあるべきかについて、さまざまな視点から考えます。

3 学外で実践を深め、地域とつながる

小学校英語活動に向けて対応を積極的に行っております。また、東大寺英語ボランティアガイドなど、正規の教育実習以外にも教育実践の場が用意されています。

4 充実した専門科目を用意

本学は、教員養成大学として、一般教職関連科目はもちろんのこと、英語教育や言語学、文学・文化に関わる専門科目も充実しています。



5 小学校教諭一種免許と中学校教諭一種免許(英語)が取得できる

現在9割以上の公立小学校が何らかの形で英語活動を実施しています。11年度から外国語活動必修化に伴い小学校・中学校という学校種別を超えて、英語教諭の免許を持つ人の活躍の場は拡大中です。

学びの領域

ことばと教育、文学、国際理解教育のあり方を学ぶ4つの領域



これら4つの領域から「ことば」を捉え、探求する姿勢を養います。小学校英語必修化をも意識した教育内容編成を目指しています。

主な開講科目

- ・国際英語文化教育論
- ・小学校英語教育論
- ・英米文学史
- ・音声学・音韻論
- ・異文化理解研究
- ・言語コミュニケーション論



取得できる免許状・資格

- 小学校教諭 1種
- 中学校教諭 1種(英語)
- 高等学校教諭 1種(英語) (「取得できる免許状・資格」のページ・P7 参照)

卒業後の主な進路

年度により若干のばらつきはありますが、教員(小学校、中学校、高等学校)が主な進路です。教員の他には、会社員や公務員として就職したり、大学院に進学する学生もいます。09年度卒業生(英語・国際理解教育専修)では、11人の卒業生全員が教職につきました。11人中9人が教員採用試験に合格し、正規教諭としての就職率は80%以上を記録しました。

在学生の声



3年生 櫻井 竜二さん

少人数制でじっくり学び、知的好奇心を満たすことができます。

大学からの勉強は高校までの学びとはまるで違うものになります。能動的・積極的に学ぶ姿勢が重要です。この大学には自ら学び、考えるための環境が整っています。また個性豊かで、熱心な教員陣が私たちの興味を刺激してくれます。それゆえ、自身が興味を持ったこと、面白いと思うことをとことんまで突き詰めることができます。

英語・国際理解教育専修では少人数で、じっくりと英語教育や異文化理解について考えたり、外国語を意思疎通のツールとして使用できるよう、コミュニケーションを実践的に行ったりします。そこから、多角的な視点を獲得することができ、自身の可能性を広げ、人生をより豊かなものにできるでしょう。

指導教員および専門分野

- 渡邊 一保 教授 (英語教育)
英語科教育法、早期英語教育論、英語ライティング指導の研究
- 佐藤 隆太郎 准教授 (英語教育)
第二言語習得研究、英語教育学、小学校英語教育
- 門田 守 教授 (英米文学)
19世紀イギリス・ロマン派の詩および小説、文化の研究
- 吉村 公宏 教授 (英語学)
認知言語学、日英語対照研究、言語文化論、中間構文の研究

- 米倉 陽子 准教授 (英語学)
認知言語学、言語変化に見られる規則性、意味の拡張の研究
- ロバート・ブライアン・パーキンス 講師
Knowledge Management in Higher Education/Technology in Education
- 竹原 威滋 特任教授 (ドイツ文学)
グリム童話と日欧における民間伝承の比較研究

数学教育専修

数学の大切さと美しさを体感できます。

学びのポイント

1 数学の内容とともに、その指導法を学びます

数学は一般には難解な教科と思われがちですが、数学は自然現象や社会現象のいろいろな法則を知るために欠かせない教科で、理解できればこんなに楽しく明快なものはありません。

数学教育専修では、大学4年間で人類が培ってきた数学の体系の一端に触れるとともに、数学の内容及びその指導法について学びます。学習を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、教育についての自らの理想を高め、指導力に優れた教員を目指しましょう。



2 常に考える姿勢で取り組みます

数学教育専修を希望する学生には、数学を含め、いろんな分野に興味・関心を持ち、客観的に物事を捉えることができる能力を備えていること、また、他人のよさがわかる豊かな人間性を備えていることを希望します。

昨今、学力低下が叫ばれていますが、まず学校の先生が自ら学ぶ姿勢を生徒に示していくことが大切です。数学を理解するには、何度もチャレンジする姿勢が必要です。常に考え続ける姿勢で取り組みましょう。

3 数学・情報研究会—学生の組織

学生の組織として、数学教室には、数学・情報研究会があります。主な活動としては、半世紀以上にわたり続けてきた夏の算数・数学教室があります。カリキュラム外の活動ですが、活動を通して算数・数学を学ぶことのよさを共有し合うとともに、一つの目的に向かって計画的・組織的に活動を展開していくことの大切さを学びます。



学びの領域

算数・数学の内容を通して児童生徒を育てていく数学教育、文字や記号を使って数の関係や性質を学ぶ代数学、物の形や大きさ・位置など空間に関する性質を研究する幾何学、高校で学んだ微分や積分をさらに進める解析学、数学の世界にコンピュータを活用するプログラミング、確率・統計をさらに深める分野などがあります。



主な開講科目

- ・代数基礎 ・幾何基礎 ・解析基礎 ・数理統計
- ・数理プログラミングⅠ ・中等教科教育法Ⅰ（数学）

取得できる免許状・資格

- 小学校教諭1種 ●中学校教諭1種（数学）
 - 高等学校教諭1種（数学）
- （「取得できる免許状・資格」のページ・P7参照）

卒業後の主な進路

中学校・高等学校教諭（数学）と小学校教諭が主な進路です。常勤講師、非常勤講師を合わせると、教員志望卒業生のほぼ100%が、各都道府県の公立・私立の教員となり、現在活躍しています。

本学には、大学院があり、学部卒業生が、毎年、進学しています。そこでは、学部の教育内容をさらに推し進め、自分のテーマを持って研究してゆくことになります。

在学生の声



（4回生ゼミ有志）

田邊 ゼミや授業などを通して教員と学生との交流が盛んに行われているので自分を高めるよい環境です。

根バ 小・中学生を対象とした授業をするなど実践的な活動の機会に恵まれていて、自分の成長を実感できます。

指導教員および専門分野

重松 敬一 教授（数学科教育）

数学科教育 数学教育の心理的側面からの研究

近藤 裕 准教授（数学科教育）

小・中学校算数・数学教育の指導に関する研究

川崎 謙一郎 准教授（代数）

可換代数学 ベクトル空間の拡張である加群の構造に関する研究

高木 祥司 准教授（確率・統計）

数理統計学 漸近最適性の研究

河上 哲 教授（解析）

調和解析学 作用素環論と表現論の研究

花木 良 特任講師（幾何）

位相幾何学 結び目理論と空間グラフの研究

理科教育専修

学童期、青年期にわたる子どもに自然科学をしっかりと教えることができる教育のプロを育てます。

学びのポイント

1 小学校教諭と中学校教諭の両方の免許が取れる

小学校・中学校・高等学校といった学校種別を超えて、子どもの発達と教育を見通した上でその成長を支えることができ、かつ教科内容をしっかりと教えられる教師をめざします。



2 幅広い教養と高い専門性を学ぶ

私たちの身の回りに生じる様々な自然現象や、動物・植物に親しみ、理解するための自然科学と理科教育学についての幅広い教養と学問としての高い専門性を学ぶことができます。

3 あたまとからだを動かし、理論と実践を学ぶ

「聞く・見る」という講義形式、「作る・調査する・実験する」という実習・実験形式と「考える・発表する」という演習形式の授業によって、あたまとからだを動かして学んでいきます。

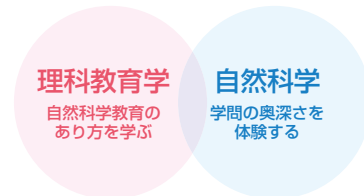


4 学外と連携して実践能力を高め、資質を磨く

奈良市内や大和郡山市内の学校で教育の補助を行う「スクールサポート」、「新理数プログラム」「サイエンスパートナーシッププログラム」などで連携する学校での教育活動への参加など、実践的指導力を高める場が用意されています。

学びの領域

自然科学の奥深さを知り、教師のあり方を学ぶ2つの領域



これら2つの領域から、子どもの発達と教育を総合的にとらえ、小学校教育・中学校教育・高等学校教育のそれぞれの接続を意識した教育内容を編成する視点を養います。

主な開講科目

- ・理科教育概論
- ・植物生態学
- ・天文学
- ・無機化学
- ・量子力学基礎
- ・物質科学実験（物理学）

取得できる免許状・資格

- 小学校教諭1種
 - 中学校教諭1種（理科）
 - 高等学校教諭1種（理科）
- （「取得できる免許状・資格」のページ・P7参照）

卒業後の主な進路

小学校教諭と中学校教諭が主な進路です。09年度卒業生では、教員（主に小学校・中学校）のほか、大学院進学、企業など、活躍の場は幅広くあります。

在学生の声



4回生 井上 広大さん

私は高校時代から理科が大好きで、その面白さを子供たちに伝えたいと思い、本学入学を決意しました。他大学にない本学の良さは、学生と教員との近い関係だと思います。先生方は、学生の学びを丁寧に見て、私達に適切なアドバイスを下さいます。授業だけでなく、授業以外の時間に研究室で親切に指導していただけます。

私の所属する理科教育専修は、実験や実習が豊富で、多くの体験や学習を行うことができます。皆さんも是非、本学に入学して、この素晴らしさを実感してみてください。

指導教員および専門分野

森本 弘一 教授（理科教育学）

科学認識を育てる理科授業プログラムの開発研究

中村 元彦 准教授（物理学）

分光法による固体物性と光学現象の物性現象への応用の研究

山崎 祥子 教授（化学）

新しい有機合成法の開発研究

堀田 弘樹 准教授（化学）

新規な化学分析手法の開発

石田 正樹 教授（生物学）

原生動物を用いた細胞生物学の研究

菊地 淳一 准教授（生物学）

外生菌根とキノコの生態学の研究

平賀 章三 教授（地学）

地学教材開発と科学技術リテラシーの研究

技術教育専修

「技術立国ニッポン」を支える「ものづくり」を好きにさせる教育のプロを育てます。

学びのポイント

1 小学校教諭、中学校教諭に加えて、工業高校教諭の免許を取れる

中学校教科・技術だけでなく、工業高校免許まで視野に入れたカリキュラムで、高い技術力を備えた教師をめざします。

2 「ものづくり」の理論と実践をバランスよく学べる

材料加工をはじめ、各種理論の講義を通して、頭に「知識」をインプットした後は、ひき続き、実験実習で体を動かして「体験」し、製作物をアウトプットすることで、理論と「ものづくり」を結びつける技術のバランス感覚、実践力を確かなものにします。



3 地域とつながり、「ものづくり」を広める

公開講座「技術教室」では、地域の子どもたちとともに工作を体験し、地域への「ものづくり」の裾野を広げています。



学びの領域

4本柱で考える、技術教育のあり方。



主な開講科目

- ・木材工作理論
- ・金属工作理論
- ・機構学
- ・電気基礎
- ・情報基礎
- ・栽培学原論

取得できる免許状・資格

- 小学校教諭1種
 - 中学校教諭1種（技術）
 - 高等学校教諭1種（工業）
- （「取得できる免許状・資格」のページ・P7参照）

卒業後の主な進路

小学校教諭、中学校教諭（技術）、高等学校教諭（工業）が主な進路です。その他、公務員、企業、大学院への進学など、活躍の場は幅広くあります。

在学生の声



3年生 真城 匠さん

私は技術教育を学びたいと思い、本専修を選びました。ここでは電気、情報、木材加工、金属加工、機械、栽培など、いろいろな分野を学ぶことができます。金属加工実習で取っ手部分の溶接をしたり、栽培実習で田植えをしたりするなど、普段体験できないことも行い、楽しく学んでいくことができます。また、少人数制の講義が多いため、先生方は個々の学生の理解度に応じて、きめ細やかな指導をしていただけます。講義後も気軽に質問することができます。先生方、先輩、後輩との距離も近く、とても充実した学校生活を送る事ができる点も、技術教育専修の大きな魅力の1つだと思います。

指導教員および専門分野

谷口 義昭 教授（技術科教育・木材加工）
木材加工用教材の開発研究
堀端 眞彦 教授（金属加工）
各種金属加工技術の研究

数 哲郎 准教授（電気・情報）
電気・情報分野の教材開発

家庭科教育専修

生活指導力・健康指導力をそなえた教員をめざして

学びのポイント

1 生活自立を支える家庭科教育

私たちは、多くのヒトやモノとかかわり、生活しています。自分の生活をクリティカル（批判的）に捉え、何がよいかを意思決定できる力を持つことにより、生活は向上します。そして一人ひとりの生活の改善が共生社会の形成や、環境への負荷の軽減につながるのです。子どもたちの手指の巧緻性は益々低下しています。調理を始めとする物作りを体験的・実践的に学ぶ教科は家庭科の他にありません。家庭科は、子どもたちの生活自立を支援する教科です。



2 家庭科は国語や算数、理科や社会の基礎的な学びを実際の生活にいかす力をつける実践的な教科です

電気製品を購入してもマニュアルが読めなくては使えません。おいしい料理の味付けに計量と計算は欠かせません。遺伝子組換え食品やBSE問題など、安全な生活を送るために理科の知識が必要です。人はひとりでは生きていけません。家庭生活と社会生活を切り離して考えることは不可能です。基礎的な知識をいくら詰め込んでも、生活に役立たせようとする意思と術がなくては宝の持ち腐れになってしまいます。

3 家庭科教師は、児童生徒の生活自立を支援し、応援します 成長発達に直接的にかかわる教科が家庭科なのです

学部4年間は、小学校教諭と中・高等学校家庭科教諭の資格をとるための勉強をします。家庭科の学習は衣生活、食生活、住生活、家族、保育と幅広い分野に及んでいます。興味のある分野の学習を積み重ねることにより、教育界だけでなく産業界へ進出することも可能です。

学びの領域



主な開講科目

・教科教育法（家庭） ・家庭経営学 ・被服学 ・栄養学
・食品学 ・保育学

取得できる免許状・資格

- 小学校教諭1種
 - 中学校教諭1種（家庭）
 - 高等学校教諭1種（家庭）
 - 幼稚園教諭1種
- （「取得できる免許状・資格」のページ・P7参照）

卒業後の主な進路

常勤の小学校教員、幼稚園教諭が6割以上、常勤の小学校講師、中学校講師が約2割です。

その他、高等学校の非常勤講師が約1割、大学院進学、その他一般企業も約1割います。

在学生の声



4年生 村岡 英恵さん

家庭科と聞くと、調理実習や被服実習のイメージが浮かぶ人が多いと思います。

しかし、実際に学問として学んでいくと、この分野ほど人の生活、一生と強く結び付いた分野はないというほど、とても奥が深いのです。日頃、生活の中で当たり前となっていること一つ一つが全て学びに繋がっていきます。何気なく行っていたことを改めて学問として学んでいく中で、毎日の暮らしをより豊かなものにすることができます。また、現在本学では、食育リーダーの育成に力を入れており、奈良漬け作りの体験や、工場見学など、多くの貴重な体験をすることもできます。教授方も親身な熱い指導で、私たち学生の学ぼうとする意欲を全力でサポートして下さいます。

指導教員および専門分野

鈴木 洋子 教授（家庭科教育）

小学校低学年からの食育の推進

大家 千恵子 教授（食物学）

LCA手法による環境にやさしい食教育の研究

杉山 薫 准教授（食物学）

未利用食材の栄養評価と有効利用

内田 恵美子 教授（被服学）

皮膚にやさしい衣服のための基礎研究

水島 かな江 特任教授（家庭経営学・家族関係学）

家庭と庭に関する歴史的研究

音楽教育専修

音楽に感動し、その感動を子どもたちに伝え、共にわかち合えることの出来る教師を育てます

学びのポイント

1 幅広く音楽実技を学べます

ピアノ、声楽、管・打楽器、三味線などの楽器、合唱、指揮、伴奏法など、いろいろな実技を学びます。幅広く高い音楽実技の能力を身に付けていることは、音楽を教えるために最も大切なことだからです。



2 音楽を教えるためのすぐれた方法を学べます

音楽でたくさん子どもたちを幸せにするためにはどうしたらよいか、ということについていつも考えて、そのための理論と教育実践の方法を学びます。



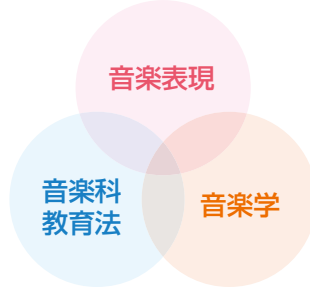
3 音楽を通して人間を学べます

音楽が人間の心を豊かにしたり癒したりする働きについての科学を学びます。音楽心理学や音楽療法もその1つです。



学びの領域

すぐれた音楽家であり、すぐれた音楽教師になるための3つの学び



主な開講科目

・声楽 ・ピアノ ・管楽器 ・日本や諸民族の伝統音楽
・伴奏法 ・作曲 ・編曲法 ・音楽学 ・音楽教育史 ・音楽教育学

取得できる免許状・資格

- 小学校教諭1種
 - 中学校教諭1種(音楽)
 - 高等学校教諭1種(音楽)
- (「取得できる免許状・資格」のページ・P7参照)

卒業後の主な進路

毎年、卒業生の8~9割が小学校教諭に採用されています(期限付き講師などを含む)。

学級担任や音楽専科として、毎日子どもたちに囲まれて、元気に活躍中です。

その他に、中学校教諭、企業に就職、大学院に進学する人もいます。

在学生の声



3年生 堀川 恵佳さん

私が所属する音楽教育専修は他専修に比べて他学年との交流が多く、お互いに協力し合い切磋琢磨しながら生活しています。

他学年との交流がある合唱の授業を始め、専門の授業ではピアノ、声楽のレッスンはもちろん管楽器やソルフェージュ、三味線、伴奏法、指揮法、作曲・編曲など全ての分野を学ぶことが出来ます。また、音楽理論、音楽史、音楽学概論、音楽療法、音楽心理学など実技だけではなく音楽に関する知識を学ぶ授業も充実していて、実技と知識の両面から学びます。それに加え教育大ならではの音楽指導の知識も取得することができ、教育実習や音楽療法の授業などで理論だけではなく実践することにより、教師になるために必要なノウハウを学ぶことができ、とても魅力的なカリキュラムになっています。

また、学生有志が自分達で作上げるオペラ公演や定期演奏会など行事も多く、とても充実した学生生活を過ごすことができます。

このように音楽を様々な視点から専門的に学べ、それを活かせる場を多く設けている奈良教育大学音楽科は、非常に有意義な学習の場だと私は思います。

指導教員および専門分野

安田 寛 教授(音楽科教育)

音楽教育史、特に唱歌の成立史をアジア・太平洋の広い地域史として研究

福井 一 教授(音楽学・音楽生理学)

音楽が人間のこころや身体に及ぼす影響の科学的研究

福田 清美 教授(声楽)

声楽(独唱~合唱)の発声法と演奏法を様々な声に対応し研究

前田 則子 教授(器楽)

ピアノ演奏法、伴奏法、及びピアノ教育、ソルフェージュ教育の研究

劉 麟玉 准教授(音楽科教育)

音楽教育史、民族音楽学

北條 美香代 准教授(作曲)

作曲法、編曲法、管弦楽法、及び創作指導法研究

岡田 孝 特任准教授(声楽)

ドイツ・イギリス声楽作品の演奏法、及び合唱指導の研究

美術教育専修

児童期から青年期の成長・発達をふまえ、子どもの豊かな表現と鑑賞活動を導く教育のプロを育てます。

学びのポイント

- 1 小学校教諭と中学校教諭、両方の免許が取れる
小学校、中学校といった学校種を超えて、子どもの成長・発達を捉え、これを支える教師をめざします。
- 2 自らの表現力や鑑賞力を磨き、子どもの表現と鑑賞を導く力量を培う
知識・技能・そして熱い思いを、子どもに伝えるためには、自らの能力を磨くことが必要となります。基礎・基本を学び、自分の望む授業を選択し、表現力・鑑賞力を培います。



3 子どもとふれあい、地域とつながる

小中学校での教育実習、希望者が行う学校現場での「スクールサポート(補助教員活動)」、図書館での「絵本のひろば」、大学祭での「造形ひろば」などを通して、子どもとふれあう体験を行い、対応力を身につけます。



4 研修合宿や卒業研究／制作発表展などの活動を通して、企画力や運営力を培う

学生が主体的に動く活動として、専修メンバー全体が参加する研修合宿、学外施設での青丹彩(あおにさい)展、卒業研究／制作発表展があります。これらの活動を通して、企画力や集団を動かす力を養います。以下のHPで日程、場所など詳細を確認の上、是非おいで下さい。



<http://mail2.nara-edu.ac.jp/~udah/sinhyou-bijutu/>

■指導教員および専門分野

西野 慎二 教授(彫塑)
彫刻制作を中心とした素材の研究、立体教育への活用
宇田 秀士 教授(図画工作・美術科教育)
題材開発に基づいた授業研究、近代日本美術教育実践史研究

学びの領域

子どもを知り、教科内容のあり方を学ぶ3つの領域

平面・立体・教科教育の3領域から構成されるカリキュラム。2年次までに各領域の基礎を学び、3年次以降は各自が専門領域に選んだ研究室で学びを深めその成果を卒業論文・卒業制作にまとめます。



これら3つの領域を基礎として、児童期から青年期の成長・発達をふまえ、子どもの豊かな表現/鑑賞活動を導く教育内容を編成する力量を養います。

主な開講科目

- ・ 幼児の造形表現
- ・ 初等教科教育法(図画工作)
- ・ 中等教科教育法(美術)
- ・ 絵画(映像メディア表現を含む)
- ・ 彫刻・実材
- ・ デザイン
- ・ 美術概論

取得できる免許状・資格

- 小学校教諭 1 種
- 中学校教諭 1 種 (美術)
- 高等学校教諭 1 種(美術) (「取得できる免許状・資格」のページ・P7参照)

卒業後の主な進路

小学校教諭、中学校美術科教諭が主な進路です。その他、特別支援学校教諭、幼稚園教諭、保育士、高校や大学の講師、公務員、デザイン関連会社、工房、芸能などの場で活躍しています。

在学生の声



4回生 土岐知嘉子さん、甲斐由理恵さん

私は昔から、「子ども」と「絵を描くこと」が大好きで、その両方を生かせる仕事に就きたいと思い奈良教育大学の美術教育専修を受験しました。

本大学での美術専門科目では、自分のスキルをさらに伸ばすことができ、「教育実習」やその他様々な講義では「教育」の深さ、難しさ、そして楽しさを学ぶことができます。さらに附属学校をはじめたくさんの子どもの目に触れ合うことで、教師に必要な実践力・応用力を身につけられ、入学前では考えられないほど充実した日々を送っています。また、美術教育専修の仲間と共に制作に励む日々は、大変貴重な時間です。

本大学で一人でも多くの同志と共に活躍できるよう、心から皆様をお待ちしております。

山根 千佳子 准教授(構成・デザイン)
構成・デザイン教育の研究、テキスタイルアートの研究と制作
比留間 良介 特任教授(絵画)
美術教育のカリキュラム研究、絵画制作研究

保健体育専修

実践的指導力のある保健体育・スポーツのプロフェッショナルを養成します。

学びのポイント

1 少人数指導による学習の深まり

それぞれの専門の授業は、少人数制で展開されますので、充実した教育を受けることができます。卒業論文の作成においても、1教員が2～3名の学生を担当するので、中身の濃い研究指導を受けることができます。



2 小学校教諭と中学校教諭・高等学校教諭（保健体育）の免許が取れる

小学校教諭だけでなく、中学校と高等学校の保健体育教諭の免許が取得できます。また、カリキュラム上、養護教諭の免許や、日本体育協会認定スポーツリーダーの資格が取得しやすくなっています。



3 スポーツ指導経験の重視

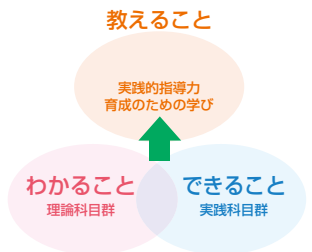
生涯スポーツ振興という広い視野をもつ保健体育教員を育成するために、スポーツ指導方法論や地域スポーツ実習の授業では、近隣の地域スポーツクラブや本学公開講座の子どもボール教室で指導をしています。



学びの領域

確かな体育・スポーツの「理論と実技」に基づく「実践的指導力」を修得します。

右図の3つの領域の学びから、保健体育やスポーツの社会的教育の重要性や、学問としての体育・スポーツの価値を自らの身体を通して認識することができます。



主な開講科目

- ・体育心理学 ・体育原理 ・生理学(運動生理学を含む)
- ・中等教科教育法Ⅰ(保健体育) ・スポーツ社会学 ・スポーツ医学
- ・スポーツトレーニング論

取得できる免許状・資格

- 小学校教諭1種 ●中学校教諭1種(保健体育)
 - 高等学校教諭1種(保健体育) ●養護教諭1種
- (「取得できる免許状・資格」のページ・P7参照)

卒業後の主な進路

半数以上が教員としての進路を選んでいますが、05～08年度の卒業生50人中76%が教職についています。08年度では教職についてものの内約75%が正規採用、25%が期限付き採用でした。

また、約10%は大学院に進学しており、その他の卒業生は企業に就職したり、大学院以外への進学となっています。

在学生の声



4回生 中川 貴至さん

私は小さい頃から体を動かすことが好きで、ずっと野球をしてきました。今までスポーツをしてきた経験を活かして、子どもたちにスポーツの面白さ、素晴らしさを伝えたい、子どもたちと一緒に夢を追いかけてみたい、保健体育専修に入りました。

保健体育専修では、球技・水泳・スキーなど実技の授業はもちろん、運動学・生理学・体育心理学などスポーツを様々な視点から考えることのできる授業、栄養学・学校保健など学校現場で使える知識を学ぶ授業などがあります。

このような授業は少人数で行われ、教員の熱意ある指導で、一人ひとりの理解も深まりやすいです。さらに、仲間同士の絆が強く、学年を超えて仲の良いところも保健体育専修の魅力の一つです。

指導教員および専門分野

岡澤 祥訓 教授(体育科教育)

運動有能感を高める体育授業づくりに関する研究

高田 俊也 准教授(体育科教育)

目標論に基づく授業づくりとその授業の改善のための評価論を中心とした授業の研究

立 正伸 准教授(スポーツトレーニング論・運動学)

映像を用いた運動動作の分析、および筋の出力に関する研究

高橋 豪仁 教授(スポーツ社会学)

生涯スポーツやスポーツイベントについての社会学的研究

笠次 良爾 准教授(学校保健・スポーツ医学)

スポーツ傷害を含めた、傷害予防に関する研究

中谷 昭 教授(運動生理学)

トレーニングや食事が糖・脂質代謝に及ぼす影響に関する研究

生活科教育専修

具体的な活動や体験を通して、子どもたちに自立への基礎を養う教育のプロを育てます。

学びのポイント

1 小学校教諭と幼稚園教諭または中学校教諭のどちらかの免許が取れる

小学校教諭の免許をベースにして、幼稚園と小学校との連携を重視する場合には幼稚園免許を、教科の専門性を求める場合は中学校教諭の免許を取得します。免許取得に自由度があることが他の専修にはない特徴です。



2 自立への基礎を養う理論と実践を学ぶ

従来の教師主導の授業である「何を教え、分らせる」ではなく、子どもたちの自発性と能動性を尊重した「何を育てるか」の授業作りを重視しています。このためには、教師が積極的な活動や体験をする必要があり、授業を通してこれらの理論と実践活動内容を身に付けさせます。

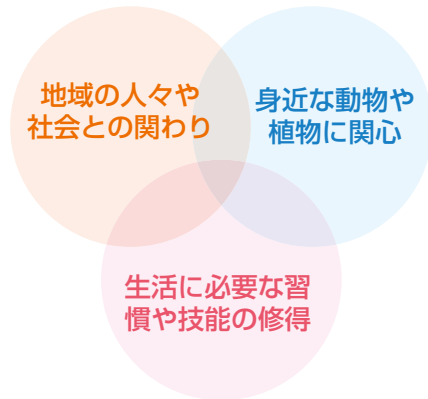
3 附属学校園や地域とつながる授業

授業で学習した内容を附属学校園に出かけて授業実践を行っています。また、奈良市内の小学校や幼稚園で「スクールサポート」活動を行い、大学と学外との連携をしています。



学びの領域

生活科教育に必要な3つのポイントを学ぶ。



主な開講科目

・身近な自然学 ・野外生活 ・ものづくり学 ・調理学
・環境教育 ・幼児の理科

取得できる免許状・資格

●小学校教諭1種 ●幼稚園教諭1種 または ●中学校教諭1種
中学校教諭1種はどの教科の免許状でも取れます。
(「取得できる免許状・資格」のページ・P7参照)

卒業後の主な進路

主な進路は、幼稚園教諭と小学校の教諭です。

在学生の声



3年生 天野 季香さん

私は、小学校の教師になるために奈良教育大学に入学しました。具体的な活動や体験を重視し、自立への基礎を養う生活科に興味を持ち、この生活科教育専修を選びました。

生活科の授業では、幼稚園・小学校の教育現場で役立つ知識を身に付けることができます。キャンプやものづくりなど、身近な自然と触れ合う実践的な授業を通して、とても楽しく学べるところが生活科の特徴です。

また、卒業要件として中学校免許と幼稚園免許を選択できることも生活科教育専修の魅力の一つです。

指導教員および専門分野

岩本 廣美 教授 (地理教育)
食と環境、子どもの遊び環境

森本 弘一 教授 (理科教育)
原体験を重視した教材作成

谷口 義昭 教授 (ものづくり)

伝承あそびを通して地域との連携の在り方を考える

大家 千恵子 教授 (食教育)

食習慣の完成を目指した食教育

鳥居 春己 教授 (野生動物管理)

野生動物と人間との共生について考える

古文化財科学専修

古代が息づく奈良の地で、文化財を科学の眼で探り、学際的な対応能力を育成します。

学びのポイント

1 世界的な文化遺産に恵まれた奈良の地で、古文化財科学の探求を行う

近年の文化財・考古学の分野では、自然科学における解明や発展が著しい。文化財の宝庫である奈良の地で、古文化財科学の探究を行う知識と方法を学習し、その過程で学際的分野への対応能力を身につけることができます。



2 文化財・考古学と自然科学の基礎分野を学ぶ

古文化財科学という学際的分野に対応するには、文化財・考古学と自然科学の諸分野を基礎的に学びます。この学びを満たす文化財・考古学・自然科学の諸授業やカリキュラムが構想されています。

3 最新の文化財科学を学ぶ

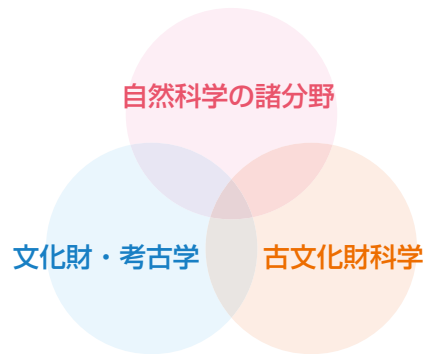
文化財・考古学に関連する科学は、近年の進展が著しく、それを包括した古文化財科学の授業を展開し、最新の知識と方法を学びその問題点を考えます。



4 実践的に学ぶ

文化財科学の実験・実習では、実体験を踏まえた、実際に目で見、手で触れる授業を展開しています。また、文化財調査や遺跡調査現場に参加し、文化財、遺跡・遺物に接することによって、実践的に生きた知識を習得することができます。

学びの領域



主な開講科目

・古文化財科学概論 ・考古科学 ・保存科学 ・考古科学実験
・物理・科学・生物・地学の各概論と実験 ・考古学 ・考古学実習
・文化財と奈良 ・文化財材料学 ・博物館学

取得できる免許状・資格

●中学校教諭1種(理科) ●高等学校教諭1種(理科) ●学芸員
●学校図書館司書教諭 ●社会教育主事
(「取得できる免許状・資格」のページ・P7参照)

卒業後の主な進路

教員・公務員・一般企業など多岐にわたりますが、高い専門性が求められる文化財・考古学・文化財科学の大学院進学者が多いことも特徴です。

在学生の声



4年生 宮崎 理子さん

古文化財科学専修は、古文化財を科学的な視点で学ぶ専修です。専門の先生のもとで実際の遺物に触れて学ぶことが出来ます。文化財・考古学についても学びますが、自然科学の基礎をしっかりと身につける必要があり、私自身は入学当時戸惑いもありました。ですが、次第に遺物を歴史的な観点と自然科学的な観点両方から見る事が出来るようになり、古文化財科学の楽しさが分かるようになりました。

また、文化財造形専修や他分野の先生方の講義を受ける機会もあるため、美術史や保存科学なども学ぶことが出来ます。学内遺跡や奈良県内の遺跡などに接する機会も多く、様々な体験をすることが出来ます。

■指導教員および専門分野

金原 正明 教授(文化財科学)
花粉分析・樹種同定による植生・環境・生業の復元、トイレ考古学

青木 智史 特任講師(年代学)
文化財・考古遺物の放射年代測定と真贋研究

文化財造形専修

模写・復元や工芸制作の実技的技量と、美術・工芸史の知識とを総合して、文化財の真価を発信し普及する人を育てます。

学びのポイント

1 文化財の宝庫、奈良という恵まれた環境

代表的な古社寺の世界文化遺産登録に象徴されるように、奈良は日本を代表する文化財（美術工芸）の宝庫です。奈良という恵まれた環境をフィールドの中心に置いて、それぞれの授業や全体としてのカリキュラムが構築されています。



2 実技と理論の二面から文化財を総合的に理解する

文化財としての美術工芸の教育・研究は、従来、内容が理論に偏り、素材や技法への体験・理解が不足しがちでした。文化財造形専修では、伝統技法を現代に活かすことを目標に据えながら、眼で見、手で触れることのできる文化財を対象として、実体験を踏まえた講義・実技・実習を展開します。造形の基本となる絵画・彫塑・デザイン、とりわけ工芸の実技を重視し、さらに一步を進め模写・復元に重点を置く文化財（絵画）の記録保存を学習し、保存・修復の基本を体得します。また、地の利を活かし、仏教美術研究を機軸とした日本・東洋美術史の視点を加え、文化財を総合的に理解します。



3 文化財を学ぶことで現在・未来を見通す

文化財造形専修では、美術工芸史に対する深い素養と、技法面や保存修復に関する十分な理解・能力を併せ持ち、文化財を現代社会に向けて発信し普及する力を備えた人材を養成します。

学びの領域

体験を重視しながら文化財を深く学ぶ3つの領域

奈良をはじめとする日本各地やその源流となるユーラシアの古代美術について造形芸術学の観点から学び、実技的体験にも裏打ちされながら研究を深化させる日本・東洋美術史、文化財の彩色文様を模写し、さらに伝統的技法による復元図・復元模造品の作成に至る絵画記録保存、日本の古代産業技法を制作の過程をとおして研究し、日本文化の基調をなす陶芸などの造形活動の基礎を身につける美術工芸制作の三つの領域があります。



主な開講科目

- ・文化財材料論 ・文化財と奈良 ・ユーラシア美術史
- ・文化財保存修復概論Ⅰ・Ⅱ ・日本美術史Ⅰ・Ⅱ
- ・文化財実地研究Ⅰ・Ⅱ

取得できる免許状・資格

- 中学校教諭1種（美術） ●高等学校教諭1種（美術）
- （「取得できる免許状・資格」のページ・P7参照）

卒業後の主な進路

博物館学芸員、普及員や保存修復技術者、文化財を学校教育に活かす力量を持つ教員など多岐にわたり、05年度～07年度と連続して教員採用試験（中学校）合格者を出しています。学芸員や保存修復技術者になるためには高い専門性が求められ、大学院進学者が多いことも大きな特色です。

在学生の声



4回生 小松原 絵里さん

文化財造形専修では、東洋・西洋の美術史・芸術学はもちろん、絵画・彫刻・デザイン・陶芸など実技科目にも触れながら、様々な知識を基礎から学ぶことができます。

また構内には吉備塚古墳や新薬師寺の遺構、近辺には世界遺産のある神社仏閣、国立博物館などがあり、文化財を学ぶのに非常に適した環境で、個性豊かな仲間達と、第一線で活躍される先生方から細やかな指導を受けることができます。

さらに教員免許や学芸員資格も取得でき、将来文化財について学んだ事を生かした職につくことも可能ですので、歴史や美術、文化財を起点に自分の可能性を広げることができる専修です。

指導教員および専門分野

大山 明彦 准教授（絵画記録保存）
伝統的技法による彩色文様の模写・復元

山岸 公基 教授（日本・東洋美術史）
ユーラシア美術史をふまえた日本古代・中世美術史の研究

書道芸術専修

書道という伝統文化に接することによって、情緒豊かな生徒を育てることのできる教員を育てます。

学びのポイント

1 奈良という恵まれた環境

奈良は、書道に関する文献資料が、正倉院をはじめ多くの寺社や博物館に納められており、公開の機会は多くあります。また、墨や筆の製造は奈良がわが国を代表するものであり、ことに製墨業においては現在も全国生産の殆どを担っています。その製作過程を見学し体験することも可能です。このように、奈良は書道を学習する者にとって最も適した環境にあると言えます。



2 高等学校芸術科書道の免許が取得できる

書道芸術専修では高等学校芸術科書道の免許が取得できます。高校現場で直ぐに教育実践できる力を養うため、漢字・仮名・漢字仮名混じり文・篆刻・書道史・書道理論・書道科教育法などの指導力を培う授業が展開されています。

3 地域とのつながり

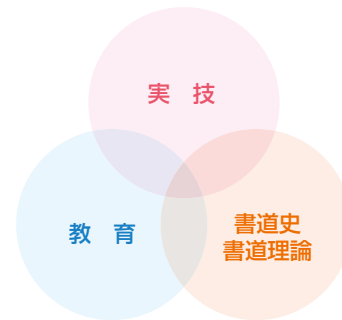
フレンドシップ事業「書道を楽しもう」は、近隣の小学校・中学校の児童生徒共に書道を楽しみながら、学生の指導力を身につけていく行事です。過去に4回行い、年々充実したものになってきています。

4 書家としての実力をつける

学外では、全日本高校・大学書道展で毎年最高賞を受賞したり、学内では奈良教育大学書道展、各回生別学内展などを催し、作品制作力を習得します。



学びの領域



2年次までに各領域の基礎を学び、3年次以降は各自が専門領域に選んだ研究室で学び、その成果を卒業論文としてまとめます。

主な開講科目

・楷書法 ・行書法 ・草書法 ・古筆論 ・漢字造形論
・仮名造形論 ・漢字創作法 ・仮名創作法 ・漢字作品研究
・仮名作品研究 ・篆隸書法 ・篆刻法

取得できる免許状・資格

●高等学校教諭1種(書道)
(「取得できる免許状・資格」のページ・P7参照)

卒業後の主な進路

卒業生の内、大学教員に30名以上、高校書道教員は大阪府下で60%以上、奈良県下では90%以上という実績があり、ここ数年の卒業生は、小・中・高等学校の教員や、期限付き教員として採用されました。その他、公務員、企業、大学院への進学などです。

在学生の声



3年生 中野 志保さん

書道芸術専修では、先生方と学生との距離が近く、きめ細やかな指導を受けることができます。古典の臨書はもちろん、それらを創作へと繋げる力をつけることが出来ます。また、実技だけではなく、書道史や法帖購読などの理論の講義もあり、様々な角度から書道を学べます。

その他に、地域の子どもたちを対象としたフレンドシップ事業では、小・中学生に書道を楽しんでもらうことを目的としています。この事業を私達学生が企画・運営することで、指導力を培うことが出来ます。

先輩・後輩の仲が良く、皆で協力し合い、自らの書を探索しながら日々鍛錬しています。書道を専門的に、より深く学びたいと考えている皆さんの入学を心よりお待ちしております。

指導教員および専門分野

福光 佐今 教授(書道)
漢字書法全般についての研究
吉川 美恵子 教授(書道; 仮名)
仮名書法全般についての研究

豊田 宗児 准教授(漢字: 古代文字)
漢字書法、古典文字・篆刻についての研究
谷川 雅夫 特任准教授(書道史・書道理論・書道教育)
日本書道史・中国書道史の研究

地域環境専修

地球環境に関する問題を、社会科学적인視点から分析する際の考え方、テクニック、プレゼンテーションの仕方の専門的知識を習得した人材を養成します。

学びのポイント

1 中学校社会、高等学校地歴・公民、学芸員の免許が取れる

中学校と高等学校の免許、学芸員の免許は、卒業要件ではありませんが、取得することができます。



2 環境問題に関する理論と実践を学ぶ

本専修では、環境問題に取り組む様々な個人・組織と連携を保ち、それらの方々の活動内容を聞き取りしたり、実際に活動に参加することで、環境問題の具体的内容を理解すること、実際にそれに取り組む実践力をつけることを目標とします。



3 フィールドで実践を深め、環境問題を認識する

環境問題に取り組むためには、実際にフィールドに出て、自分で実感することが必要です。本専修では演習と実習形式の授業によって、環境問題に関する取り組みの経験を重ねます。



学びの領域

環境問題を知り、その解決の仕方を考える3つの領域



主な開講科目

- ・地域環境概論Ⅰ・Ⅱ
- ・地域環境計画
- ・環境思想
- ・産業地域論
- ・地域環境政策
- ・都市政治論
- ・地方行政論
- ・非営利組織論実習
- ・地域分析実験
- ・総合フィールド演習

取得できる免許状・資格

- 中学校教諭1種(社会)
 - 高等学校教諭1種(地理歴史)
 - 高等学校教諭1種(公民)
 - 学芸員
- (「取得できる免許状・資格」のページ・P7参照)

卒業後の主な進路

最近の主な進路は、以下のとおりです。

公務員・教員

京都府庁、京都市役所、宝塚市役所、今治市役所、大阪府警、大阪府小学校教諭、兵庫県小学校教諭、東京都小学校教諭

会社

奈良新聞社、日本生命、ナカバヤシ、ローソン、セブンイレブン、東急コミュニティー、H.I.S、エスティワールド、イオンクレジットサービス、ウッドランド、京都タワー、JTB中国四国、ひかり塾

進学

信州大学大学院、滋賀県立大学大学院、奈良教育大学大学院

在学生の声



3回生 北森 大基さん

いにしへの古都奈良、鹿が教室の横を走る中、少人数による質の高い授業が受けられます。高校までの授業とは違って、具体的な事例から自分自身で考え、レポートなどにまとめるといった授業が中心になります。

地域環境という名のように、自分のまわりにある自治体を地域に根差した学習をしています。具体的には、1回生の時から奈良町や京都市街地などフィールドワーク(実際に現地に行って調査)の授業が複数あります。それらは、地理学・政治学・社会学と、先生によってそれぞれ異なる観点から追求するため、私達には多角的な視点を形成できる環境が整っています。あなたもこんな素晴らしい学びの扉を開いてみませんか。

指導教員および専門分野

淡野 明彦 教授(地理学)
居住環境のアセスメント、観光・レクリエーション空間の整備
川上 文雄 教授(政治学)
地域創造への市民参加の研究

根田 克彦 教授(地理学)
都市内小売業の空間構造、アメリカとイギリスの都市計画
渡邊 伸一 准教授(社会学)
公害・環境問題を中心とする社会学的研究

自然誌専修

奈良・紀伊半島・日本の自然に精通しフィールドに強い人材を育成します。

学びのポイント

1 豊かなフィールドワーク

奈良と紀伊半島の森林、海、岩について1回生から豊富なフィールドワークを展開し、その自然環境についての深い知識と具体的な経験の総合化を図ります。



2 生物環境と物理環境の理解

さまざまな生物が織りなす生物的自然環境と、その基盤となる地質、大気、水といった物理的自然環境の双方について専門的な学習プログラムを提供します。



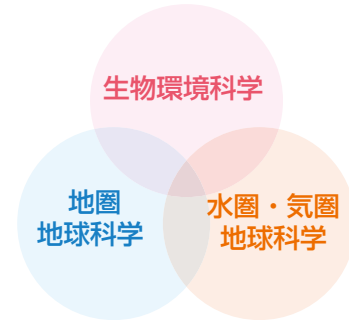
3 地域固有の自然

外来種などの侵入による在来種の消失、絶滅危惧種の現状、人為的影響による水質変化など、現在進行形の環境問題について地域固有の自然と対比して現場で考えます。



学びの領域

自然環境の成り立ちを理解する3領域



主な開講科目

・植物生態学 ・動物系統学 ・臨海実習 ・水圏科学 ・地質学
・地学巡検

取得できる免許状・資格

●中学校教諭1種(理科) ●高等学校教諭1種(理科) ●学芸員
〔取得できる免許状・資格〕のページ・P7参照)

卒業後の主な進路

年度によって変動がありますが、過去3カ年では、学校などの教育関連、公務員への就職が2割程度、および一般企業への就職が3割程度あります。

また、本学大学院をはじめ、生物科学系や地球科学系の他大学大学院への進学者が3割程度あります。

在学生の声



3回生 今西 かおりさん

百聞は一見に如かず。そんな諺がものすごく似合っているのが私の所属する自然誌専修です。耳ではよく聞くことであっても、実際にそれを目で見て、触れて学べる機会には少ないのではないのでしょうか？しかし自然誌専修では、その一番の特色であるフィールドワークを通して、1回生の頃から山や海などの様々なフィールドに飛び出し、自然環境を目で見て、触れて考えることができます。私自身、こういった実習や普段の授業において、今まで経験したことのない世界に飛び込むことで、新たな発見や多くの学びを得ることができ、この専修に入れた事にとても満足しています。また少人数制であるからこそ、先輩や後輩との繋がりも深く、何より好奇心の旺盛な先生方のもとで学ぶことで、その学びの魅力が伝わってきます。

想像力と好奇心をもって自ら学ぶ。そのような経験を通して、一緒に実りある大学生活を楽しみましょう！

指導教員および専門分野

松井 淳 教授(植物生態学)
木本の繁殖生態、湿原の保全生物学
和田 穰隆 准教授(地質学、火山学)
火山の地質学、紀伊半島の地質

藤井 智康 准教授(陸水物理学、水圏環境科学)
湖沼・河川における流動に関する研究

情報数理専修

情報数理的な視野と洞察力を培い、それを広く実社会に応用することができる人材の育成を目指します。

学びのポイント

1 情報数理的思考力を養う

情報化社会におけるさまざまな問題を解決するための源となる数学的思考法と情報科学的思考法を学び、それらを融合した情報数理的思考力を養います。



2 問題解決の手法を創造する

情報科学と数学を駆使することによって、実社会を正しく認識し、さまざまな現象をモデル化し問題解決する情報数理的手法を探求します。



3 少人数教育による指導

少人数による教育・研究指導が充実しています。学生と教員の距離が近く、情報数理的な視野と洞察力を着実に身に付けることができます。

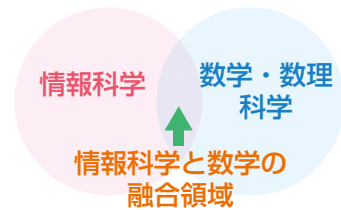
4 情報と数学の免許が取れる

充実した教員養成プログラムにより、教育現場が求める教師の資質を養い、さらに現代社会における情報教育・数学教育のあり方について学ぶことができます。

学びの領域

情報化社会の基礎となる3つの領域

総合的な視野から、コンピュータなどの道具を用いて、情報数理的手法を実際の問題に適用する応用力を養います。実践を通じて、より親しみのある情報数理を目指しています。



主な開講科目

- ・情報科学入門
- ・システムプログラミング
- ・計算機と暗号
- ・コンピュータネットワーク
- ・数理と情報
- ・代数構造
- ・幾何構造
- ・数理解析
- ・数理統計
- ・数理プログラミング

取得できる免許状・資格

- 中学校教諭1種(数学)
 - 高等学校教諭1種(数学)
 - 高等学校教諭1種(情報)
- (「取得できる免許状・資格」のページ・P7参照)

卒業後の主な進路

約半数が企業に就職し、次に多いのが中学校または高等学校の教員です。本学または他大学の大学院へ進学し、さらに専門性を深めている人もいます。卒業生の活躍する場は年々広がっています。

在学生の声



3回生 中山 英文さん

私は、教員免許取得と企業就職の両方に興味があり、本学の情報数理専修を受験しました。

授業では高校数学の延長や、数学の新たな分野の勉強も行います。情報においては、プログラミングは勿論、情報処理技術者としての様々な知識を身につけることもできます。

また課外活動や、ボランティア活動も盛んで、夏休みには近隣の小中学生を招き、理数・生活科学コース数学科の学生と算数・数学教室を開講するなど、様々な活動をしています。

情報数理専修では、教員を目指す人、企業への就職を希望する人など様々な進路を考えている人が在籍しています。

教員志望の方はもちろん、数学や情報に興味がある方もぜひ、情報数理専修に来てください。

■指導教員および専門分野

浅井 照明 教授 (応用代数)
有限数学、離散数学、オブジェクト指向の研究

伊藤 直治 教授 (システム科学)
情報数理システム理論・システム制御理論の研究

物質科学専修

モノを理解し、モノを創造しよう。

学びのポイント

1 実験や演習を重視

身近な題材や物質をテーマとし、実際にモノに触れ、モノを合成する実験や演習を主体とした教育を行っています。また充実した実験機器を使った研究を行えます。



2 少人数指導

一人ひとりの興味と専門性を伸ばせるよう、レポートの指導や少人数班の実験セットの配備など、習熟度アップを目指してサポートします。



3 様々な立場に合わせた表現能力の向上

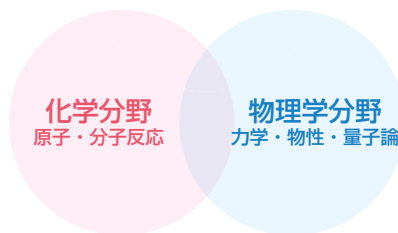
自然科学の事象を様々な立場に立って説明する実践力を身につけることができます。

4 ミクロとマクロの世界の探求

ミクロな現象を軸として自然科学を理解する能力を身につけることができます。

学びの領域

ミクロなレベルで物質を理解し、発展させることを目的としています。



主な開講科目

- ・物質機能科学 ・分析化学 ・物理化学 ・無機化学
- ・物質科学実験（物理、化学） ・熱とエネルギー ・振動と波動
- ・電磁気学 ・有機化学

取得できる免許状・資格

- 高等学校教諭1種(理科) ● 中学校教諭1種(理科)
 - 高等学校教諭1種(情報)
- (「取得できる免許状・資格」のページ・P7参照)

卒業後の主な進路

- 中学校理科教員 ● 情報関係企業
- 医薬品関係企業 (MRなど) ● 合成関係企業

<http://mailsrv.nara-edu.ac.jp/~tsuneta/bu-shitsu/top.htm>

在学生の声



4年生 山田 あや香さん

物質科学専修では、毎年8割以上の方が中学・高校の理科や高校の情報などの教員免許を取得しています。また、物理学や化学を深く学び、企業への就職を目指している人もいます。私は、教員免許取得と企業への就職ともに興味があったので、物質科学専修を受験しました。また、卒業するために必要な単位と教員免許に必要な単位の履修が組みやすいので教員免許取得のために勉強しつつ、無理なく物理学や化学を勉強することができます。それが、物質科学専修の大きな特徴といえます。

今私の周りには、教員、企業の就職、公務員そして大学院への進学を目指し日々頑張っている人たちが多くいます。このように物質科学専修では、将来様々な職業を選ぶことができる専修だと思っておりますので、教員志望の方はもちろん、まだ進路が見えていない方もぜひ来てください。

指導教員および専門分野

梶原 篤 准教授 (物質科学)
新しい物質を作り出す科学

常田 琢 准教授 (物質科学)
ナノスケール構造物の創製と物性測定

附属施設・設備

1 教育実践総合センター



本センターは、「教育実践研究」、「情報メディア教育」、「教育臨床研究」、「教材開発・実践利用」の4部門からなります。共同利用施設として、教育相談をはじめとして、ビデオ教材の収集・作成・編集、情報機器の利用、教育実践に関する資料の収集・検索などで、利用しやすい環境を整備しています。積極的な活用と、共同研究の場となることを期待します。

2 特別支援教育研究センター



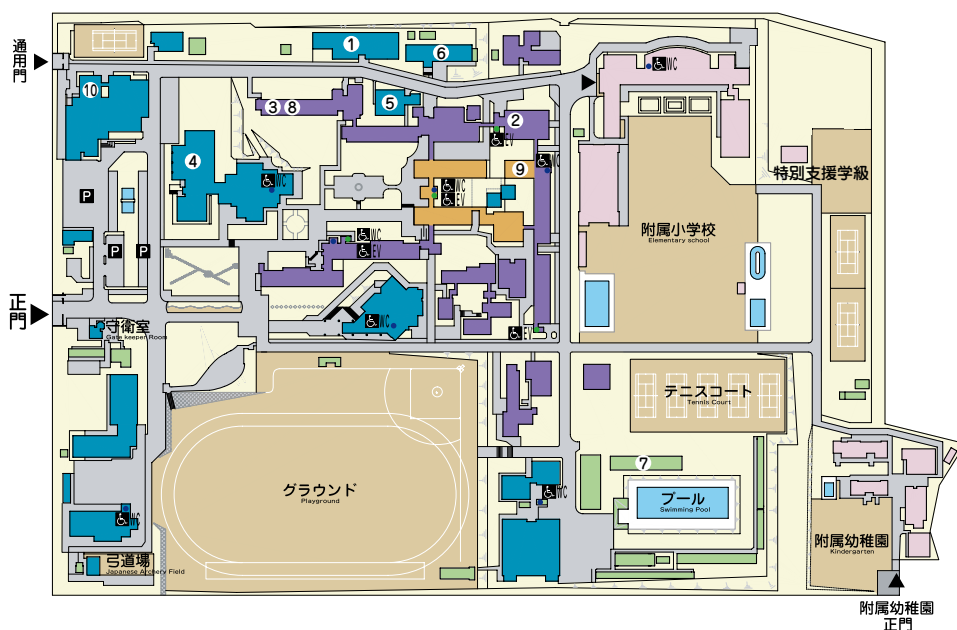
本センターは、平成19年度からスタートした特別支援教育に関する実践的研究、人材育成、そして地域貢献を目的に設置されました。発達支援部門での本人・保護者への専門的な相談業務、教育実践支援部門での学校や教育委員会等と連携活動のほか、公開講座や研修会も行います。学生ボランティア活動などで特別な支援が必要な児童と接する学生への支援も行いますので、積極的に活用して下さい。

3 理数教育研究センター



「考える力」をはぐくむ理数教育を

本学の理数教育プロジェクト「先導理数」、「融合理数GP」の成果を結集し、平成20年度に設立された理数教育の研究の拠点です。現在進行中の「新理数」プロジェクトを統括し、理数教育プログラムの立案・運営、行政と連携した地域の公教育の支援を行います。国際協力が視野に入れ、産官学を問わず、理数教育に関わって広く学外との連携を推進する開かれた拠点です。



学術情報研究センター 4 図書館



大学正面から見て、講義棟の手前に位置している、波状の屋根を施した建物です。約32万冊の蔵書を有し、教育や研究活動に密着した大学のコアとなっています。各分野にわたる専門図書の中でも教育関係図書が多いのが特徴です。また、閲覧・貸出のほか調査・相談、文献検索、他図書館との相互利用(文献複写及び現物貸借)、講習会などのサービスも行っていきます。

授業期間中は午前9時から午後9時(土曜日は午前10時から午後5時)まで開館していますので積極的な利用を期待しています。

5 情報館



大学の北面中程に位置しています。WWW、e-mailをはじめとした学内ネットワークのサービスを24時間365日ノンストップで行っています。

入学すると、必修科目「情報機器の操作」で、コンピュータの基本操作や情報モラルを学習しますので、初心者でもメールやインターネットを自由に使うことができるようになります。在学中は学内7ヶ所・計237台のコンピュータと4ヶ所のカラーレーザープリンタをいつでも自由に利用することができます。館内設備として、実習室に87台、2つの演習室に計52台の共同利用パソコンと2台のカラーレーザープリンタがあります。

6 教育資料館



大学の北面中程にある昭和初期の趣が今に残るレンガ造りの建物です。我が国の学制発足以降における奈良県下の初等中等教育に関する資料を中心に収集し、利用に供していると共に、教育・研究発表の場として展示等にも活用されています。また、世界遺産関係のDVDを鑑賞する世界遺産ミニシアターも備えています。

7 課外活動共用施設



平成19年12月に完成した施設です。この共用施設の建設に当たっては、課外活動施設プロジェクト会議を設置し、教職員、学生代表及び保護者代表をメンバーに加えて、学生のニーズを踏まえた検討がなされました。建物内には会議室、活動内容により使い分けの可能な多目的スペース、サークル間の交流・意見交換の場となるリフレッシュコーナー及び更衣室等が設置され、主に文化系サークルの練習・ミーティング及び体育会・文化会の交流に使用されています。また、バリアフリー化を目指し、一階部分でスロープを設置している箇所もあります。

8 オープン・サイエンス・ラボ



オープン・サイエンス・ラボは、本学が取り組む理数科に強い教員の養成のためのプロジェクト「新理数」の拠点となっています。本ラボは、「新理数プログラム」を履修する学生に、連携協力校の生徒・現職教員・大学院生・大学教員が一体となり、実験を中心とした活動を通じて本物のサイエンスを楽しむ場を提供しています。その活動の中では、各自の理数科教育の指導のスキルを上げるために、教材・カリキュラムの開発・教科書研究を行っています。

9 マルチデジタル学習システム



マルチデジタル学習システムは、語学学習機能と高精細な画像提示機能を併せ持っています。教員PC2台、学生PC40台、ハイビジョン映像を表示可能な大型ディスプレイ1台及びネットワーク機器一式で構成されており、同時通訳等の練習をはじめとして、比較的大人数のクラスであっても教員から個別指導を受けることができるなど、多彩な学習形態が可能になりました。

教育実践総合センター

センター長：藤田 正 教授(併任)
センター教員：生田 周二 教授(人権教育・異文化間教育の社会教育的研究)
藤原 公昭 教授(メディア教育・情報教育の研究)
山邊 信一 教授(有機化学反応経路の理論的研究)
赤沢 早人 准教授(学校教育の課程および方法に関する研究)
市来百合子 准教授(教育臨床におけるアーツセラピーの実践的研究)
数 哲郎 准教授(技術教育、電気・情報分野の教材開発)
西川 雅信 特任講師(教員研修に関する研究)

学術情報研究センター

センター長：佐野 誠 教授(併任)
副センター長：藤原 公昭 教授(併任)
センター教員：伊藤 剛和 准教授(学習環境の構築・運用に関する研究)

自然環境教育センター

センター長：鳥居 春己 准教授(野生動物管理学)

保健管理センター

所長：辻井 啓之 教授(内科学・臨床検査医学)

理数教育研究センター

センター長：松山 豊樹 教授(素粒子論、初期宇宙論)
センター教員：松村 佳子 特任教授(理科教育)
片岡 佐知子 講師(高エネルギー物理学)

特別支援教育研究センター

センター長：岩坂 英巳 教授(児童青年期精神医学)
センター教員：河合 淳伍 特任教授
松浦 直己 特任准教授

10 保健管理センター



学生の健康の保持・増進をはかることを目的として設置されています。社会環境や意識の変化にともなう学生生活も多様化し、抱える身体的・精神的問題も多岐にわたっています。より快適で充実した学生生活を過ごせるように業務・支援を行っています。

自然環境教育センター



耕作地84aを含む110aからなる奈良実習園と標高1200mの清水峰やブナの原生林をもつ17haの奥吉野実習林という2つの施設をもっています。奈良実習園では、栽培学、生物学、環境に関する実習や演習、各種公開講座などが行われています。奥吉野実習林には40人が宿泊できる施設と350㎡の教育・研究棟を備えており、ここでは、集中講義、野外実習、卒業研究などが行われ、学生の教育研究の場として使われています。

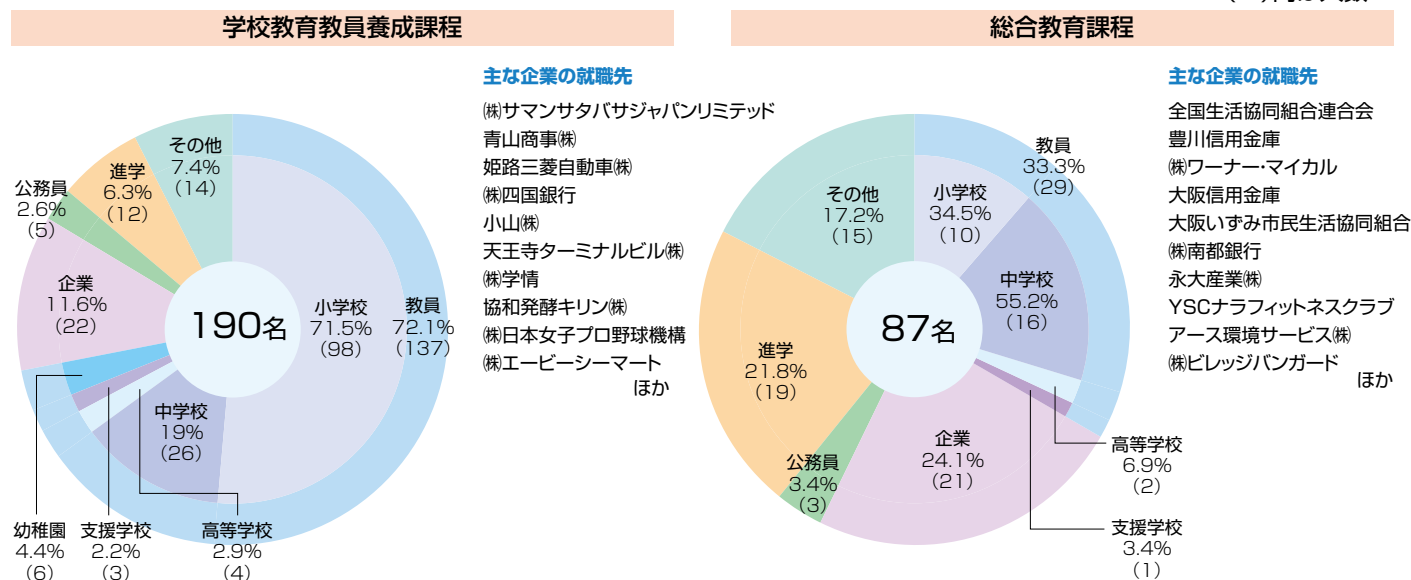
就職状況

卒業後の進路
21年度卒業者の就職状況

教員・公務員をはじめ多種多様な企業に就職

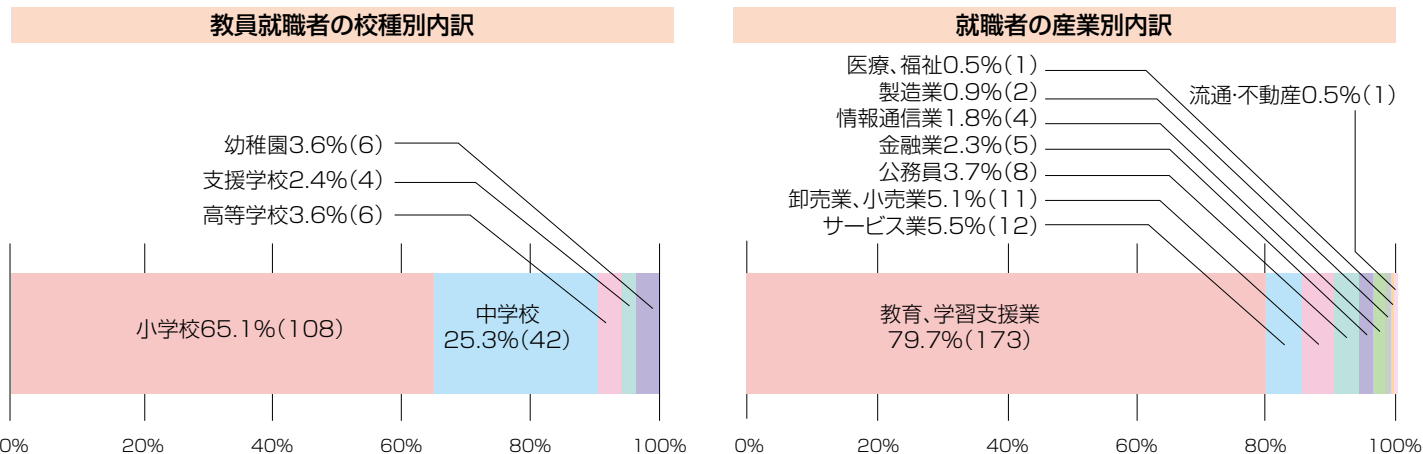
進路状況(課程別)

()内は人数



就職状況(学部全体)

()内は人数



教員就職者の都道府県別内訳

(人)

課程	採用区分	都道府県名																								
		北海道	神奈川県	愛知県	静岡県	新潟県	富山県	石川県	福井県	岐阜県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	岡山県	広島県	鳥取県	島根県	山口県	徳島県	愛媛県	熊本県	
学校教育教員養成課程	教諭		2		1		1	1	1	1	1		8	26	5	36	1	1						1		
	講師			2	1				1	2	1	2	1	3	11	4	13	1	1	1	2	1	1	1	2	
総合教育課程	教諭	1											1	3	1	5										
	講師					1						2		10	1	3										1
合計	教諭	1	2		1		1	1	1	1	1		9	29	6	41	1	1						1		
	講師			2	1	1			1	2	1	2	3	3	21	5	16	1	1	1	2	1	1	1	2	1

卒業生からのメッセージ



大和郡山市立矢田小学校教諭

中谷 実加 さん

学校教育教員養成課程
教育発達基礎コース
特別支援教育専修
2010年3月卒業

大学で夢を現実に。 毎日、子どもたちの笑顔に包まれる幸せ。

私は現在、小学校2年生を担当しています。驚きや発見の毎日で、忙しくも充実した日々を送っています。子どもたちはいつも元気いっぱい。喜びや怒り、悲しみや楽しみなど、様々な感情を私にぶつけてきます。子どもたちがいる時間は、精一杯、子どもたちと一緒に過ごし、できる限り時間や気持ちを共有できるように努めています。放課後は事務仕事や教材研究に追われる毎日です。しかし、いくら忙しくても子どもたちの満面の笑顔を見ると、疲れも吹き飛んでいきます。そして、子どもたちが毎日、笑顔でいられるようなクラスを目指して頑張っています。

大学では、特別支援教育を専攻し、様々な支援を必要とする子どもたちについて学びました。実際に教壇に立ってみると、子どもたちは十人十色です。決して一筋縄ではいきませんが、大学での実践的な演習や講義がとても役に立ちます。特に教育実習での経験は、教師の卵として私を大きく成長させてくれたように思います。

教員採用試験に向けては、大学の就職支援プログラムを大いに活用させていただきました。教養試験対策をはじめ、実技や面接、模擬授業対策など、手厚い支援をしていただきました。今、教師になるという夢を叶え、子どもたちの前に立っていただけるのは、大学での様々な人々との出会いや学び、経験があったからだと思います。

後輩にひとこと

この大学は学生数が少ないので、一人の学生に対して、とても丁寧に手厚く指導していただけます。また、先生や友人との繋がりも深く、かけがえのない素敵な出会いをすることができます。貴重な学生時代を充実したものにしてください。



アース環境サービス(株)

山上 菜穂子さん

総合教育課程
環境教育コース
自然誌専修
2010年3月卒業

大学生活での経験が社会に出てからの 自分を作ります。

私は環境教育コース自然誌専修に所属していました。机上の勉強や実験だけでなく、フィールドワークで山や海に行き、実際に体を動かし自分の目で見て触って体験し、自然の素晴らしさや恐ろしさ、現状について学びました。また先導理数教育プロジェクトにも参加していたので、1回生や2回生の頃から自分達で理科実験の授業を企画し小中学生に授業をするという貴重な体験もさせていただきました。これらにより、科学的な考え方や専門知識を学び、プレゼンテーション能力が身につきました。これは3回生からの就職活動でも役に立ちました。就職難で本当に苦戦しましたが、先生方や先輩にアドバイスを頂き、大学の就職支援室でも面接練習をしていただきました。そして今の会社に就職することができました。4回生になると、教育実習、卒業論文と忙しくも充実した毎日を送りました。教育実習や卒業研究内容は直接今の仕事とは別分野ですが、授業の組み立て、プレゼンテーションや、科学的に物事を考えること、実際に現場で調査することなど社会に出る上で大切な基本を学び、私の今の仕事（医薬品・食品・住宅環境に関わる製品を製造する事業所の衛生管理のサポート・提案を行う仕事）にも役立っています。

後輩にひとこと

少人数制の大学なのでアットホームな雰囲気です。友達だけでなく、先輩や先生方も親密になれるのがメリットです。また、大学生活では何事も積極的に行動してみてください。社会に出る前の大切な4年間です。勉強だけでなく、色んな人と話をし、遊んで充実させてください。

就職支援プログラム

気軽に相談できるオープンな環境を整え、学生の

企業就職対策スケジュール (21年度)

4月 April	5月 May	6月 June	7月 July	8月 August	9月 September
	■キャリアガイダンス	■職業適性検査 ■自己分析 ■保護者ガイダンス ■スタートアップセミナー	■企業研究 ■企業エントリー	■夏休み支援セミナー	

教員・公務員就職対策スケジュール (20~21年度)

10月 October	11月 November	12月 December	1月 January	2月 February	3月 March
	■教職教養対策講座①	■教職教養対策講座②③④	■教職教養対策講座⑤	■小学校全科対策講座③④⑤	■一般教養対策講座①②③④⑤
			■小学校全科対策講座①②		■実践人物評価講座
			■模擬試験①		

教員・公務員就職対象

3回生の半ばから翌年の8月中旬まで30回以上にわたり、模擬試験・面接等を含む試験対策講座や情報を提供します。

〈プログラムの一例〉

対策講座

「教職教養対策」「小学校全科対策」「一般教養対策」「小学校実技対策」など

模擬試験

面接は採用試験本番同様の形式で行う

企業就職対策

3回生の春から約1年間にわたり、職務適正分析、企業研究、エントリーシートの書き方、マナー、面接対策など、幅広く講座や情報を提供します。また、卒業生にも積極的に就職支援をしています。

ボランティア支援総合センター

ボランティア支援総合センターでは、学生ボランティアや教員インターンシップのサポートを行っています。

平成22年度 卒業生 教員採用試験合格体験記

津田 詩織さん 奈良県小学校教員採用試験合格
(学校教育教員養成課程 教育・発達基礎コース 心理学専修 2010年3月卒業)

4週間にわたる3回生の教育実習が終ると、楽しかった実習の思い出が鮮明なうちに、すぐに筆記試験の対策が始まりました。いろいろと覚えなければいけないことが多く、昔、大学受験をした頃のような生活が続きました。しかし、励ましてくれる先生方や一緒に勉強に取り組む友達がおかげで、コツコツと向上心を持って対策を進めることができました。また、大学で開催される面接対策や模擬試験も大変充実していました。初めはさんざんな結果でしたが、試験直前まで何度も繰り返し対策をさせていただいたので、採用試験当日は緊張せずに自信をもって臨むことができました。

思い返してみると、合格までの道のりは長く、「合格できないかも…」と不安になったり、意気消沈したりしたこともありましたが、そんなときにキャリアサロンの訪れると、先生が笑顔で迎えてくださり、幾度となく元気をもらいました。苦手だった論文も、キャリアサロンの先生の丁寧な指導のおかげで、書き方のコツをつかむことができました。



奈良教育大学には教師を目指す仲間が多く、良い刺激をもらいました。将来どんな教師になりたいか本音で語り合える素敵な仲間巡りに巡り合え、そんな仲間たちと共にこれから教壇に立つことができると思うと嬉しくなりません。教師になりたいという夢が実現したのは、多くの方々の支援があったおかげです。

就職を全力で応援します。

10月 October	11月 November	12月 December	1月 January	2月 February	3月 March
■面接対策①②③	■面接対策④⑤		■書類集中講座		■面接集中講座
4月 April	5月 May	6月 June	7月 July	8月 August	9月 September
■模擬試験②	■教員採用試験受験説明会	■模擬試験⑥	■激励会・出陣式	■2次試験対策	
■模擬面接①	■模擬試験③ ■小学校実技対策	■模擬面接②		■模擬授業対策	

キャリアサロン メニュー

相談(キャリアカウンセリング)

- キャリアカウンセラーによる職業相談
- 進路に迷っている人向けキャリア相談
- キャリアデザイン講座の実施
- エントリーシート添削
- 中小企業研究～就職活動の現状、就職活動に関する相談など

情報提供

- パソコン等による求人検索コーナー
- 就職に関する書籍、雑誌の閲覧コーナー
 - 企業研究、企業分析
 - 就職試験対策
 - キャリアビジョン
- キャリアカウンセラーによる就職関連情報に関するレポート

プチセミナー

- 自己分析セミナー
- 企業の求める人材～企業研究
- 魅力アップセミナー
(服装・身だしなみ・コミュニケーション他)

あんなこと、こんなこと、何でもOK。！のリクエスト制

開所日時

毎週水曜日 13:00～17:00



集団討論



激励会・出陣式



キャリアサロン



ボランティア支援総合センター

履修の仕方

教育課程（カリキュラム）

本学の教育課程は、学校教育教員養成課程及び総合教育課程によって異なりますが、両課程の共通科目として、豊かな教養と広い知見を養うための教養科目、外国語科目、保健体育科目、コンピュータを利用した情報化社会に対応するための情報機器の操作の科目があります。

このほか、学校教育教員養成課程は学校教育基礎科目及び専門教育科目から成っています。専門教育科目は、教育職員免許状取得に必要な教科専門科目及び教職専門科目などで構成されており、教科専門科目は、教科に関する専門的な知識と技術を深く研究するために、また、教職専門科目は、教育に関する専門的な知識と技能（教育実習等）を修得するために設けているものです。

総合教育課程は、より専門分野の研究を深められるよう、課程共通科目、コース共通科目及び専修専門科目から成っています。これらの科目の中には教育職員免許状取得のための授業科目も含まれていますので、卒業要件単位以外に、免許状に必要な授業科目の単位を修得することにより教育職員免許状を取得することも可能です。

また、どの課程、コースにおいても学修結果の集約として、4回生で卒業論文を作成することになっています。

履修方法

授業科目の履修は単位制で、本学では4年間に学校教育教員養成課程は134単位以上、総合教育課程は128単位以上を履修することが卒業の基本要件になっています。各授業科目の目的や内容、評価方法をあらかじめWeb上のシラバスで確認し、履修登録を行います。なお、両課程とも教室での講義や演習にあわせて準備や復習を充分行えるように1年間に履修登録することができる単位数の制限をしています。

各授業科目は、1週間に1回ずつの授業が前期、あるいは後期に15週以上行われます。授業時間は90分を1コマとし、15週間分の授業で試験によって単位を修得します。

なお、授業科目によっては夏季、冬季休業中に集中講義という形で連続して授業を行うものもあります。

■授業時間は以下の通りです。

1・2時限	9時00分～10時30分
3・4時限	10時40分～12時10分
5・6時限	13時00分～14時30分
7・8時限	14時40分～16時10分
9・10時限	16時20分～17時50分

フレンドシップ事業

教員をめざす学生のために、いろいろな活動を通して実際に子どもたちとふれあい、実践的指導力の基礎を身につけることを目的とした教育プログラムを実施しています。平成21年度は、6つの事業が行われました。



夢化学21世紀
子どもとともに学ぶ理科教室を開こう



味覚をいかしたクッキング



上北山村で大歓声を!!



書道を楽しもう



古代探検



飛行コンテスト

在学生の一週間



学校教育教員養成課程 言語・社会コース 国語教育専修
3年生 松村祥平 さん

私の所属している硬式野球部は、部員それぞれの個性や自主性を重んじ、「野球を楽しむ」ことがモットーです。週4日という少ない練習の中で、いかに工夫して時間を有効に使うかということを考えて、毎回の練習に取り組んでいます。また、クラブの無い日は、アルバイトをしたり、友人と遊んだり、卒業論文のテーマに関する研究をしたりするなど、とても充実した毎日を送っています。

	月	火	水	木	金	土	日
1・2時限		初等教科教育法(生活)	国語科教育学演習Ⅰ	[教育実習] 事前指導		9:00	
3・4時限		教育課程と授業			日本文学史Ⅰ		サークル活動(硬式野球部)
5・6時限		学校経営と学校図書館			初等教科教育法(算数)	12:30	
7・8時限	日本語学研究Ⅰ	中等教科教育法Ⅲ(国語)	14:30	近代文学研究			
9・10時限	国語科教育学研究Ⅱ		サークル活動(硬式野球部) 18:00	16:30			
	17:50 サークル活動(硬式野球部) 19:30			サークル活動(硬式野球部) 19:30			



総合教育課程 環境教育コース 自然誌専修
2年生 酒井有紀 さん

私は、理科の教員免許と学芸員資格の取得を目標にして、毎日の授業を受けています。概論系の授業はどちらに対しても必要なので、頑張りたいと思います。

また、サークル活動として弓道部に所属し、日曜や長期休暇中に行われる試合で結果を残すため、また自己を高めるために活動しています。学業もサークルも、自分にとって大事な部分を形成するためのものなので、日々全力で取り組んでいます。

	月	火	水	木	金	土	日
1・2時限		生涯学習概論Ⅰ	教育相談			9:30	
3・4時限	外国語コミュニケーション	植物生態学	政治学	総合演習	化学概論Ⅰ		サークル活動(弓道部)
5・6時限		地学概論Ⅰ	13:00 サークル活動(弓道部)	生物学概論Ⅰ	物理学概論Ⅰ		
7・8時限	体育実技		16:00	物理学実験	地学実験		
9・10時限	16:30 サークル活動(弓道部) 19:00						

教育実習

教員免許取得のために必要な教育実習は、教員になるための貴重な実践経験をふまえて、教員についての総合的な認識と力量等を身につけるため、学校教育教員養成課程においては3回生及び4回生で、総合教育課程では4回生で行われます。教育実習に参加するための条件としては、原則として、学校教育教員養成課程では、2回生を終えるまでに70単位以上、総合教育課程では、3回生を終えるまでに105単位以上を修得し、実習前の事前指導を受講する必要があります。

なお、小学校または中学校の免許状を取得する場合は、2回生で7日間の「介護等体験」が義務付けられています。

また、平成22年度入学者からは、「教職実践演習」も教員免許取得のための必修科目として設定され、4回生後期に履修します。

教員免許状の取得区分と教育実習の基本的なパターン

学校教育教員養成課程

免許状の取得区分 教育実習	小学校一種 + 中学校一種	幼稚園一種 + 小学校一種	小学校一種 + 特別支援学校一種	中学校一種 + 特別支援学校一種
3回生後期 (4単位)	附属小学校 又は附属中学校	附属幼稚園 又は附属小学校	附属小学校	附属中学校
4回生前期 (2単位)	附属中学校 又は附属小学校	附属小学校 又は附属幼稚園	協力校 (特別支援学校)	協力校 (特別支援学校)

※実習校については、附属学校以外の協力校で行う場合があります。

総合教育課程

免許状の取得区分 教育実習	中学校一種	高等学校一種
4回生前期 (2~4単位)	協力校	協力校



教育実習体験記

1年 小学校一種 中学校一種（国語） 高等学校一種（国語）の教員免許取得を目指す。

支援する側の人間が、全てを支援するのではなく、自立していけるように見守ったり、アドバイスしたりする大切さを学ぶことが出来ました。

2年 介護等体験・・・奈良県立大淀養護学校 わかくさ園

自主的に・・・奈良市内の※スクールサポートへ参加


3年 教育実習（4週間）
奈良教育大学附属中学校

生徒が作業したり、考えたりする時間をとることが、生徒主体の授業を展開する上で重要な要素になることを実践上で学ぶことが出来ました。本当に有意義な実習になったと思います。

教育実習（2週間）
奈良教育大学附属小学校
中学校教諭（国語）に就職希望

4年

卒業予定



藤原佳子さん
学校教育教員養成課程
言語・社会コース
国語教育専修 4回生

私が教員になろうと思い始めたのは、中学・高校で教えることが上手で、楽しそうに教えていらっしゃる先生方と出会うことが出来たからです。今は、教育実習で教えることの楽しさや難しさの中のやりがいなどを見出すことが出来て、本格的に教師を目指そうと頑張っています。

※スクールサポート
授業の教室内学習補助や、放課後活動における補助等を行う学校教育現場における活動補助員

1年 中学校一種（理科） 高等学校一種（理科）の教員免許取得を目指す。

自主的に・・・

2年 全国障害者問題研究会という、障害のある子どもとその保護者を対象としたボランティアグループの活動に参加

介護等体験・・・きつな苑、奈良県立盲学校

介護をされる方、介護を必要としている方を実際に知ることができ、非常に良い経験となりました。


3年

二年生の物理と一年生の化学を担当しました。新しいことを学んでいくための基本を教えるということで不安もありましたが、生徒が良い反応を示してくれると嬉しかったです。

4年

教育実習
大阪府立泉陽高等学校（4週間）

卒業



古橋 裕悟 さん
総合教育課程
文化財コース
古文化財科学専修
2009年3月卒業
大学院 教育学研究科
理科教育専修在学中

教育実習は、国語や数学といった科目内容だけでなく、自分の成長という意味で非常によい勉強になります。教える者の立場の視点を得ることが出来ます。教員になるための手段としてだけでなく、人生経験としても価値のあるものになるでしょう。

教育実習では、勉強しようという気持ちで臨むほどに、多くのことが学べると思います。

学生生活

学生会館

学生会館は学生相互の交流及び学生と教職員との親睦を深め、学生生活をより充実させるために設けられたもので、課外活動の中心的な役割を果たしています。

山田ホール(ロート製菓山田輝郎氏の寄附による大集会室)、談話室、和室、集会室、ボランティア支援総合センターからなり、学生生活に潤いを与える場所として活用されています。

また、学生会館の談話室や食堂ホール横のアゴラ(広場)は食事をしたり仲間同士で語り合ったりする学生たちの憩いの場となっています。



大学生協

学生及び教職員の福利厚生事業の充実と、大学生生活の便宜を図っています。

食堂部

栄養のバランス、安全性を考え、「食べる楽しさ」を低価格で提供できるよう工夫しています。

購買部

文具・食品・日用雑貨、授業や研究に必要なパソコンや電子辞書、周辺機器、ソフトウェア等を低価格で販売しています。

書籍部

生協組合員は10%割引。和書・洋書・雑誌の販売や各種検定講座の斡旋、大学と共同での公務員や教員採用の模擬試験等の受付を行なっています。



学生宿舎

自宅通学が困難な学生のために、国際学生宿舎(日本人男子学生と外国人男女留学生の混住)と橘宿舎(女子)があります。

	国際学生宿舎	橘宿舎(女子)
定員	100名	64名
居室数	100室	64室
居室定員	1名(個室)	
宿舎料	4,700円	個室A6,000円 個室B15,000円
維持管理費	2,500円	
入居期限	2年	
食費	寮食は提供していない	
その他光熱水費等	共同利用部分の経費+別途個室の経費	
通学時間	徒歩10分	徒歩3分

※平成22年4月現在





奨学金

人物・学業ともに優秀で、かつ経済的に修学が困難と認められる学生には、学費援助の一環として次のような奨学金制度がありますので活用してください。

- 日本学生支援機構第一種奨学金(貸与制・無利子)
1か月 自宅通学 45,000円
自宅外通学 51,000円
- 日本学生支援機構第二種奨学金(貸与制・有利子)
1か月(3万円、5万円、8万円、10万円、12万円)から選択
その他、地方公共団体や各種法人からの奨学金貸与制度もありますので、出身地の教育委員会等で確認してください。

奨学金貸与者数

区分		貸与者数
日本学生支援機構	第一種奨学生	176(10)
	第二種奨学生	297(12)

()内は大学院生等で内数

入学料及び授業料の減免

入学料については、入学前1年以内に学資を主として負担する人が死亡、または風水害の罹災等、特別の事情により入学料納付が困難と認められる学生に対して、免除する制度があります。また、入学料徴収猶予制度もあります。

授業料については、経済的事情により授業料の納付が困難であり、さらに人物・学業ともに優秀と認められる学生に対して、授業料の全額、半額又は1/3を免除する制度があります。

- 平成21年度には、在学生の24.1%が免除を受けています。

その他の学生支援

ボランティア

近隣の教育委員会等と協定を結び、教育現場へ、積極的に学生ボランティアを派遣しています。平成21年度は、約175名の学生を派遣しました。



ボランティア

学生企画活動支援事業

学生の企画力・実践力・社会性を高めるため、学生自らが企画する事業に対し、大学が経済的支援を含む各種支援を積極的に行っています。



学生企画活動支援事業「世界の子どもとつながろう～世界の子どもの写真・遊びを通じて～」

「キャンパスメンバーズ」制度

学生証を提示することで、「奈良国立博物館」「京都国立博物館」「京都国立近代美術館」「国立国際美術館(大阪)」が実施する平常展が何度でも無料で観覧できる他、種々の特典があります。



奈良国立博物館

下宿の情報提供

自宅通学が困難な学生に対し、学生の希望する条件に応じて大学の近くの下宿情報を提供しています。

学生教育研究災害傷害保険

全国規模の補償制度として、授業中、大学主催行事中、キャンパス内での移動中、休憩中、キャンパス内外でのサークル活動中並びに通学中に生じた事故に適用され、傷害の程度に応じて保険金が支払われます。

アルバイト

学生生活を支える一助としてアルバイトを紹介しています。修学との調和や健康管理・事故防止の観点から、職種や就労条件の制限をしています。

キャンパスカレンダー

■年間行事 ■地方行事



入学式



留学生懇談会



進学相談会



オープンキャンパス

4月

- 入学式
- 入学オリエンテーション
- 履修登録
- 前期授業開始

5月

- 学生自治会執行委員長選挙
- 近畿地区国立大学体育大会 (ラグビー)
- 留学生懇談会
- 留学生実地見学旅行
- 学生ボランティア説明会及び壮行会

6月

- 教育実習
- 就職ガイダンス(～7月)
- 進学相談会

7月

- 前期試験
- 定期学生大会
- 教員採用試験出陣式
- オープンキャンパス

8月

- 夏季休業
- 集中講義期間
- 近畿地区国立大学体育大会

9月

- 教育実習
- 大学院1次試験
- 履修登録

10月

- 就職ガイダンス (～3月下旬)
- 後期授業開始
- 留学生懇談会
- 大学祭(輝薨祭)
- 進学相談会

11月

- 開学記念日(18日)
- 留学生実地見学旅行

12月

- 冬季休業
- 大学懇談会

1月

- 卒業論文の提出
- 大学入試センター試験
- 推薦入試

2月

- 後期試験
- 集中講義期間
- 学部入試(前期日程)
- 大学院2次試験
- 学生表彰
- 春日大社万燈籠

3月

- 学部入試(後期日程)
- 卒業式・修了式
- 学年末休業
- サークルリーダーズミーティング

教育実習(附属中学校)



大学祭



大学懇談会



卒業式



※写真は奈良教育大学イメージキャラクター「なつきん」

サークル活動

奈良教育大学では、多数のサークルが文化系、体育系を問わず活発に活動しています。個人部門等で優秀な成績をあげている学生もいます。



男子サッカー部



創作ダンス部



ギター・マンドリンクラブ



茶道部

体育系サークル

- 陸上競技部 ■水泳部 ■ワンダーフォーゲル部 ■創作ダンス部 ■合気道部 ■少林寺拳法部 ■弓道部 ■剣道部
- 柔道部(休部中) ■ラグビー部 ■ハンドボール部 ■バドミントン部 ■卓球部 ■硬式野球部 ■準硬式野球部
- 男女硬式テニス部 ■男女ソフトテニス部 ■男子ソフトボール ■女子ソフトボール部 ■男子バレーボール部 ■女子バレーボール部
- 男子バスケットボール部 ■女子バスケットボール部 ■男子サッカー部 ■女子サッカー部 ■バドミントンサークル
- フットサルサークル ■バスケットボールサークル

文化系サークル

- (障がい者問題研究会)すぎのこ ■ギター・マンドリンクラブ ■ウインドアンサンブル ■地歌箏曲部 ■書芸部 ■茶道部
- 漫画研究会 ■劇団キラキラ座 ■華道部 ■舞台工房KATE
- 合唱団コールグレイス ■軽音楽部 ■数学情報研究会 ■歴史研究会 ■芸術研究会 ■現代視覚聴覚文化研究会
- 学生サークル「若草」 ■地球同好会

大学祭 (きぼうさい 輝菫祭)

秋に行われる大学祭では、各サークル・団体が模擬店・演舞・演奏会などの形で活躍するほか、教育大らしい「子どもフェスティバル」などのイベントが行われます。



大学祭実行委員長から

私たち大学祭実行委員会は、毎年10月末～11月初旬頃に行われる大学祭「輝菫祭」(きぼうさい)の企画・運営を行っています。来場された方の心に響くような心こもった大学祭にするため、日夜活動しています。1年を通して大学祭を創りあげていく中で得られる経験、友情は他では味わえません。

また、大学祭実行委員会以外にも様々な団体に所属する学生さんが、イベントや模擬店で盛り上げてくれています。本年度も奈良教育大学らしい地域に密着した心温まる大学祭となるように頑張っていきます。

奈良教育大学にご入学された方は、是非私たちと共に大学祭を盛り上げていきましょう。皆様のご入学を心よりお待ちしております。

大学祭実行委員会委員長 楠原正勝

入学状況

平成22年度
入学試験状況
入学者数の分布(出身高校所在地別)

■一般入試(前期日程、後期日程)

課程・コース	区分	定員	志願者数				受験者数				合格者数			入学者数		
			男	女	計	倍率	男	女	計	倍率	男	女	計	男	女	計
教員養成課程	教育・発達基礎コース	36	41	147	188	5.2	38	139	177	4.9	8	31	39	8	29	37
	言語・社会コース	33	85	88	173	5.2	80	82	162	4.9	17	21	38	16	19	35
	理数・生活科学コース	31	104	81	185	6.0	102	70	172	5.5	26	12	38	25	9	34
	身体・表現コース	38	119	195	314	8.3	88	131	219	5.8	18	26	44	18	26	44
	小計	138	349	511	860	6.2	308	422	730	5.3	69	90	159	67	83	150
総合教育課程	文化財・書道芸術コース	35	46	116	162	4.6	32	85	117	3.3	11	26	37	10	24	34
	環境教育コース	20	76	73	149	7.5	64	57	121	6.1	9	12	21	7	12	19
	科学情報コース	20	61	32	93	4.7	45	21	66	3.3	16	6	22	15	5	20
	小計	75	183	221	404	5.4	141	163	304	4.1	36	44	80	32	41	73
合計		213	532	732	1264	5.9	449	585	1034	4.9	105	134	239	99	124	223

■特別入試(推薦入学)

課程・コース	区分	定員	志願者数				受験者数				合格者数			入学者数		
			男	女	計	倍率	男	女	計	倍率	男	女	計	男	女	計
教員養成課程	教育・発達基礎コース	8	4	45	49	6.1	3	45	48	6.0	0	8	8	0	8	8
	言語・社会コース	6	5	11	16	2.7	5	11	16	2.7	2	4	6	2	4	6
	理数・生活科学コース	8	5	21	26	3.3	5	21	26	3.3	1	6	7	1	6	7
	身体・表現コース	6	2	12	14	2.3	2	12	14	2.3	1	3	4	1	3	4
	小計	28	16	89	105	3.8	15	89	104	3.7	4	21	25	4	21	25
	地域推薦(コース枠外で実施)	14	10	39	49	3.5	10	39	49	3.5	6	8	14	6	8	14
合計		42	26	128	154	3.7	25	128	153	3.6	10	29	39	10	29	39

■新卒・既卒(一般入試・特別入試[推薦入学])

志願者(計1,418人)

その他 41人(3%)

新卒 1,185人(84%)

既卒(H20.3卒)
192人(14%)

入学者(計262人)

その他 9人(3%)

新卒 214人(82%)

既卒(H20.3卒)
39人(15%)



■帰国生徒特別入試

※志願者のあった課程・コースのみ集計

課程・コース		区分	定員	志願者数			受験者数			合格者数			入学者数		
				男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
課程 教員 学校 養成 教育	教育・発達基礎コース	若干名	2	1	3	2	1	3	1	1	2	1	0	1	
			0	2	2	0	2	2	0	2	2	0	1	1	
			2	0	2	2	0	2	2	0	2	2	0	0	0
合計			4	3	7	4	3	7	3	3	6	1	1	2	

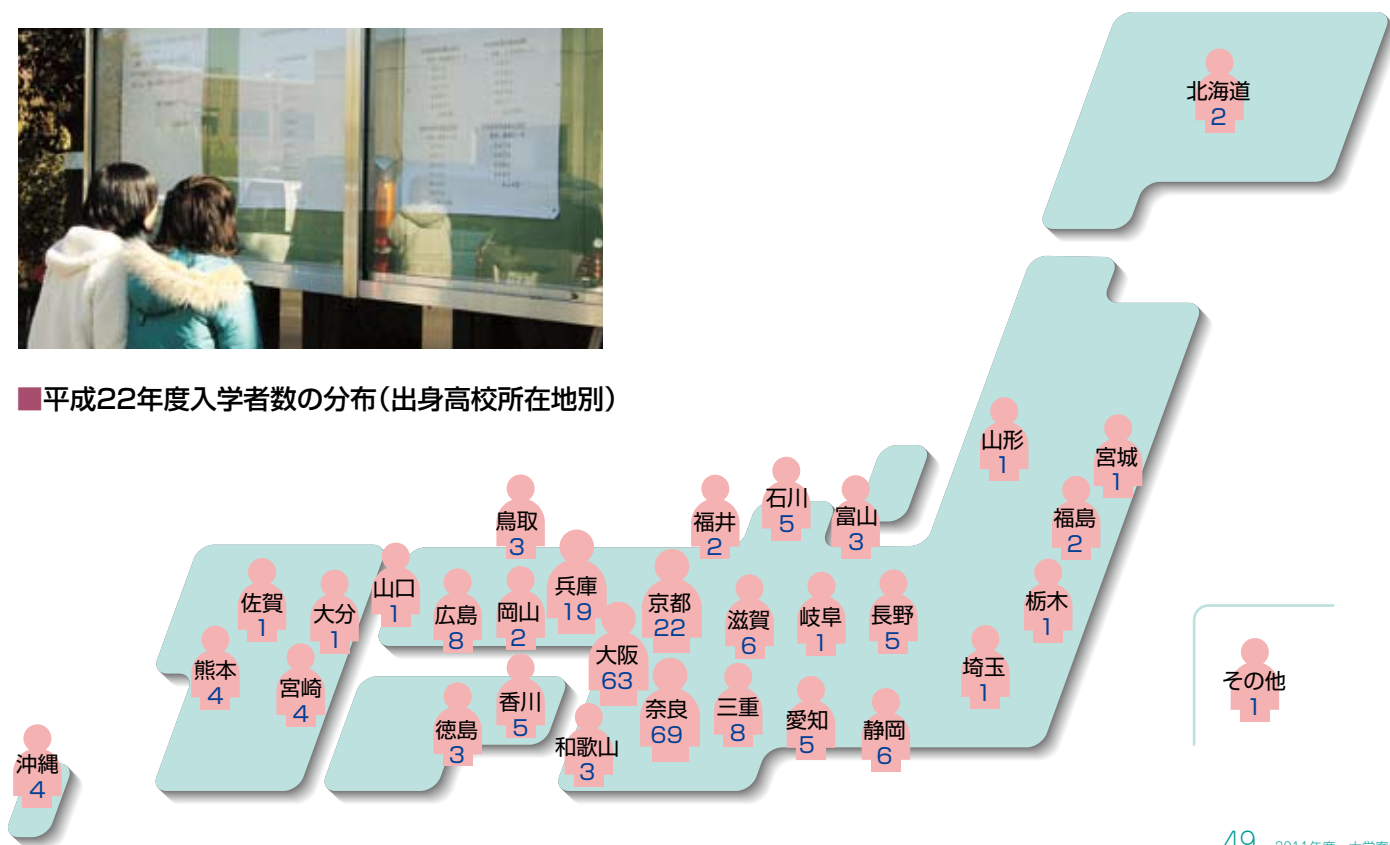
■私費外国人留学生特別入試

※志願者のあった課程・コースのみ集計

課程・コース		区分	定員	志願者数			受験者数			合格者数			入学者数		
				男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
課程 教員 学校 養成 教育	教育・発達基礎コース	若干名	2	9	11	2	9	11	0	2	2	0	1	1	
			0	3	3	0	3	3	0	1	1	0	1	1	
			2	12	14	2	12	14	0	3	3	0	2	2	
教育 総合 課程	環境教育コース	若干名	1	3	4	1	3	4	0	2	2	0	2	2	
			0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	
			1	4	5	1	4	5	0	3	3	0	3	3	
合計			3	16	19	3	16	19	0	6	6	0	5	5	



■平成22年度入学者数の分布(出身高校所在地別)



国際交流

学生交流・外国人留学生

近年、我が国では諸外国との学術・文化等の国際交流が活発に行われています。本学においても、海外派遣及び外国人留学生の受け入れ等、国際交流の推進に積極的に取り組んでいます。

学生交流

国際交流の一環として、次表の大学との間で学生相互交流に関する協定を締結し、毎年学生の相互交流をしています。協定校へは、毎年、学生を約1年間派遣しています。

学生交流協定校名	国名
インドネシア教育大学	インドネシア
嶺南大学	韓国
公州大学	韓国
西安外国語大学	中国
華東師範大学	中国
リヨン第三大学	フランス
ハイデルベルク大学	ドイツ
ブカレスト大学	ルーマニア
ロック・ハイブun大学	アメリカ
セントラルミシガン大学	アメリカ

外国人留学生

本学における外国人留学生は年々増加しており、国費留学生・私費留学生として在学しています。

留学生生活を充実させるために、一般学生との交流や留学生との懇談会及び研修旅行等も行っています。

【留学生担当教員】

嶋宮 勝 准教授（比較文化、インド思想）

【日本語・日本事情担当教員】

澤田 田津子 准教授（日本語教育《教材開発、教授法》）



UNESCO協同学校に加盟

本学は2007年度に「ユネスコ協同学校」に加盟しました。日本ではこれまでに20校あまりの小学校、中学校、および高等学校が加盟していますが、大学としての加盟は日本で最初です。



派遣先国別一覧

平成22年4月1日現在

年度/国別	アメリカ	ドイツ	韓国	ルーマニア	フランス	タイ	合計
平成20	1		1	1			3
平成21	2	1	1	1	2		6
平成22	4	3			2		9

外国人留学生年度別在学者

年度	平成20	平成21	平成22	年度	平成20	平成21	平成22
アゼルバイジャン		1		モンゴル		1	1
インド				セルビア		1	1
インドネシア	1	1		ドイツ	2	2	3
ウズベキスタン	2		1	フランス	3	2	2
シンガポール			1	ポーランド	1	1	
タイ	1	1	3	モルドバ	1		
トルクメニスタン			1	ルーマニア	3	5	4
韓国	3	2	2	ロシア	2	1	1
台湾		1	3	アメリカ	2	3	2
中国	39	42	45	ドミニカ共和国			1
フィリピン	1	1		ブラジル	1		
ベトナム	1	3	1	アルゼンチン			1
ミャンマー	2	2	3	合計	65	70	76

留学体験記



総合教育課程 科学情報コース
物質情報専修
4回生 大畑朋也

留学先：ロックハイブun大学（アメリカ）
留学期間：2009年8月～2010年5月

私が留学しようと考えたきっかけは、4回生の夏休み中に参加した韓国嶺南大学での国際交流プログラムでの体験でした。韓国人と日本人という、お互いに英語を母国語として話さない者同士が、英語という言語を使ってコミュニケーションをとることができる、そんな英語に魅力を感じた私は、アメリカへの留学を決意しました。

アメリカでの留学生活は、英語が聞き取れない、こちらの英語が通じない、といった日本では経験したことのない苦労もありましたが、同時に助けてくれた人々の優しさに出会えたのも、留学での大きな財産でした。勿論、アメリカの文化や、他国の留学生との交流を通じて得た知識は、留学ならではの経験だと思います。こうした経験から、日本の常識が必ずしも世界の常識ではなく、物事の捉え方には様々な視点があるということ学びました。

留学というと外国語の習得というイメージが強いですが、勿論生活するので食事、買い物、遊びなど全てにおいて驚きの連続でした。その感じ方は人それぞれですから、少しでも興味のある方には是非留学を目指し、自分自身で感じて欲しいと思います。

大学院案内

大学院教育学研究科 (修士課程/専門職学位課程)の目的と特色

奈良教育大学では、学部での教員養成だけでなく、大学院における、より広く高い水準の専門性を有し、高度な教育実践力を備えた、リーダーシップを発揮できる教育者の養成を行っています。本学の教育学研究科には修士課程と専門職学位課程(教職大学院)の二つの課程が設置されています。

〈用語解説〉教職大学院とは:

実践的な指導力を身に付けた新人教員や学校運営の中核を担うスクールリーダーの養成を目的とする大学院。

修士課程

学位

所定の専攻において定められた単位(30単位以上)を修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格した場合、奈良教育大学大学院教育学研究科を修了したものと認定され、修士(教育学)の学位が与えられます。

教員免許状

教員免許状(一種)を有する者は、本研究科において教育職員免許法に定める所定の単位を修得することによって、各専攻に関わる専修免許状を取得することができます。

学部授業科目の履修

大学院に在学する学生は、規程に基づき、学部の授業科目を履修することができます。この制度を利用することによって、新たな種類の免許状を取得することも可能です。なお、一定の条件を満たせば教育実習等の授業科目を履修することも可能です。ただし、在学期間中32単位内までしか履修登録することはできません。

修了後の進路

教育における高度な専門性を備えた教員として、教職に就く者が多数を占めます。その他、さらに研究を進めるために他大学の博士課程等に進学する者、企業就職・公務員就職等の道を進む者などがいます。



専門職学位課程(教職大学院)

学位

本課程で所定の単位(45単位以上)を修得し、作成・発表された学位研究報告書の質的レベルが十分な基準に達していると判断されたとき、奈良教育大学大学院教育学研究科を修了したものと認定され、教職修士(専門職)の学位が与えられます。

育成される資質能力

(1)専門的な知識を基に実践できる力 (2)常に自らの実践を振り返り、よりよく実践できる方略を見つける力 (3)教員として学び続けていくことのできる力という、3つの力の養成を目標としています。



特色

院生が入学時に決めた課題の解決に向けて、大学と連携協力校がチームを組み、複数の教員で指導に当たります。したがって、大学内での講義のほかに、連携協力校など大学外で学ぶ機会が多くなります。

教員免許状

現在取得している教員免許を基礎に、幼稚園、小学校、中学校(各教科)、高等学校(各教科)の専修免許状を取得することができます。小学校教諭1種免許状を有しない学生を対象とした、3年または4年コース「小学校教員免許取得プログラム」も開設されています。ただし、小学校教員免許取得プログラムでは両コースともに修学期間に応じた授業料が必要です。



奈良教育大学イメージキャラクター
「なつきん」

About Study

Q 単位とはどのようなものですか？

A 単位とは授業科目ごとの授業時間数と学修の量を示すもので、1単位は教員が教室等で授業を行う時間と、学生が教室外で準備学習・復習を行う時間を合計して、45時間の学修の内容で構成されています。所定の授業科目の単位を卒業要件に従って修得(学校教育教員養成課程は134単位及び該当の教員免許状の取得、総合教育課程は128単位)することになります。また成績評価は、A、B、C、D、及びEの5段階の評語をもって表し、A、B、C、及びDを合格とし、単位を認定します。

なお、一年間に受講登録できる単位数に関しては授業時間外の学習時間を確保する観点から原則として、学校教育教員養成課程、総合教育課程いずれも50単位としています。

受講登録の前年度の修得単位数合計が40単位以上かつグレードポイントアベレージ(GPA)が高かった学生については、年次制限を超えて翌年次開講の科目を登録できる制度を設けております。

Q 教育実習はどのように行われますか？

A 教員免許取得のためには教育実習は必修となっておりますが、実習期間や実習校の種類は取得を目指す免許の種類によって異なります。

一般的には、学校教育教員養成課程においては3回生の9月に4週間、及び4回生の6月頃に2週間の計6週間の実習が行われます。総合教育課程においては4回生(6月以降)に2~4週間の実習が行われます。

Q 教員免許や資格はいくつ取れますか？

A 教員免許状・各種資格の取得については、7ページの「取得できる免許状・資格」に掲載しているとおりですが、資格等の数について特に上限は定めていません。ただし、授業科目の履修は、1年間に50単位の範囲内で、各課程等のカリキュラムと時間割構成の中で、卒業要件となる授業や学びたいテーマの授業の単位を修得しつつ、免許状・資格取得に必要な授業の単位を修得することが必要ですので、所属コース等の条件により4年間の在学期間内で取得できる数は自ずと限られてきます。



Q 入学する前に、どのような授業があるのか知る方法がありますか？

A シラバスを公開(<http://www.nara-edu.ac.jp/ADMIN/KYOUMU/syllabus.htm>)しておりますので、ご希望の条件で検索してください。個別の授業内容につきましては、各教員(<http://www.nara-edu.ac.jp/person.htm>)にお問い合わせください。

Q 授業に必要な教科書はどうやって用意するのですか？

A 基本的に教科書等は担当教員の指示やシラバスの記載に基づいて、受講者自身で用意することとなります。多くの授業においては指定の教科書が生協書籍部に発注されていますので、授業登録の前後の指示によって生協書籍部で購入することもできますが、教科書を使用しない授業もあります。

Q 入学した後、他の課程・コース・専修に転じることはできますか？

A 所属専修とのミスマッチによりやむを得ない場合には、外国語、教養科目の所定の単位を修得した学生に限り、転課程・転コース・転専修を志願することができます。注意点としては以下の通りです。

- 受け入れ先のコースの収容定員の都合などにより、転課程・転コース及び転専修の募集をしない場合があります。
- 希望する学生に対しては学力検査及び面接を課しますので、不合格の場合は認められません。
- 課程等を異動することにより、取得済の単位がすべて異動先の単位として認められるとは限りませんので、在学期間が4年以上になる場合もあります。



About Campus Life

Q 卒業後の進路に対するサポートなどはありますか？

A 本学では教員・公務員・企業就職を目指す学生に対して、就職支援室を中心として様々な就職支援や情報提供を行っています。教員就職希望者、企業就職希望者それぞれに対応したガイダンスの実施や、模擬面接、模擬試験などを行っています。

教員就職の支援

筆記試験対策として各種のガイダンスや模擬試験、人物評価対策として模擬面接や模擬授業、近隣の教育委員会から講師を招いての受験説明会等を実施しています。

また、実技試験対策として、マット・鉄棒・水泳などの指導も行っています。

企業就職の支援

外部講師を招き、企業就職するための初歩的な事項から内定を得るまでの各種ガイダンスや、模擬面接・グループディスカッションなどの実践的指導を行っています。

また、低学年から就業体験ができ、職業意識を高めるためのインターンシップへの積極的な参加指導も行っています。

教員、企業とも数年前に比べると採用数が増えてきていますが、どちらも人物重視の厳選採用を行っています。希望する職に就くためには自らの早期取組や対策が必要です。大学では、平成17年度から職業意識の啓発・醸成に資するための取組として、キャリア教育科目「キャリア・プランニングと意志決定」を開講しました。一人でも多くの学生が受講し将来の職業選択に役立てるようにしてください。

多くの就職支援活動は、就職希望者の意識の高揚を図るために、参加できる学年を限定していません。早めの対策が良い結果に結びつくと思われるので、入学後も志望する就職先への情熱・努力を失わないように自己研鑽に励んでください。

Q アルバイトの紹介は、すぐにしてもらえますのでしょうか？

A 入学後半年間は、新入生に対してのアルバイトの紹介は行っていません。生活リズム・学習リズムなどが身につかないまま、アルバイトを始めると修学・健康に支障をきたす恐れがあると考えているからです。また、自動車・バイクの運転や施盤の操作など危険を伴うもの、農薬・劇物などの有害な薬物の扱いなど健康上、人体に有害と考えられるもの、マルチ・ネズミ講商法など法令に違反するもの、街頭でのチラシ配り、訪問販売、麻雀・パチンコ等の風俗営業など教育的に好ましくないものに関してはアルバイトの紹介は行っていません。

家庭教師の求人に関しては、保護者からの直接求人のみを受け付けており、家庭教師派遣業者からの求人は受け付けていませんので、家庭教師派遣業者からの家庭教師の求人を学生に紹介することはありません。

Q 寮は希望したら必ず入れるのでしょうか？

A 通学時間、保護者の収入等により選考を行い入寮者を決定します。入寮希望者が多い場合や、選考基準外の場合は、入寮できません。

Q 自動車・バイクでの通学はできますか？

A 大学への自動車での通学は原則認めていません。ただし、1時限目の授業開始時間に間に合う公共交通機関が運行されていない場合、現職教員の大学院生で、やむを得ないと認めた場合、身体的理由により常時自動車通学が必要な場合には許可することがあります。また、病気・ケガなどの身体的理由や実験・調査、その他授業や課外活動のため一時的に自動車が必要と認めた場合には、臨時入構許可をします。

なお、バイク通学の場合、学生支援課においてバイク登録の手続きを行い、所定の駐輪場に駐輪することになります。構内への乗り入れは認めていません。

その他、不明な点、疑問点等がありましたら、裏面の連絡先までお気軽にお問い合わせください。

資料請求方法 願書、学生募集要項等の資料請求の方法は、奈良教育大学ホームページ内の学生募集要項等の請求について (<http://www.nara-edu.ac.jp/ADMIN/NYUUSI/request.html>) をご覧ください。テレメールを利用したインターネットによる請求方法は以下よりアクセスできます。



テレメールによる資料請求方法
<http://telemail.jp>
にアクセスしてください。

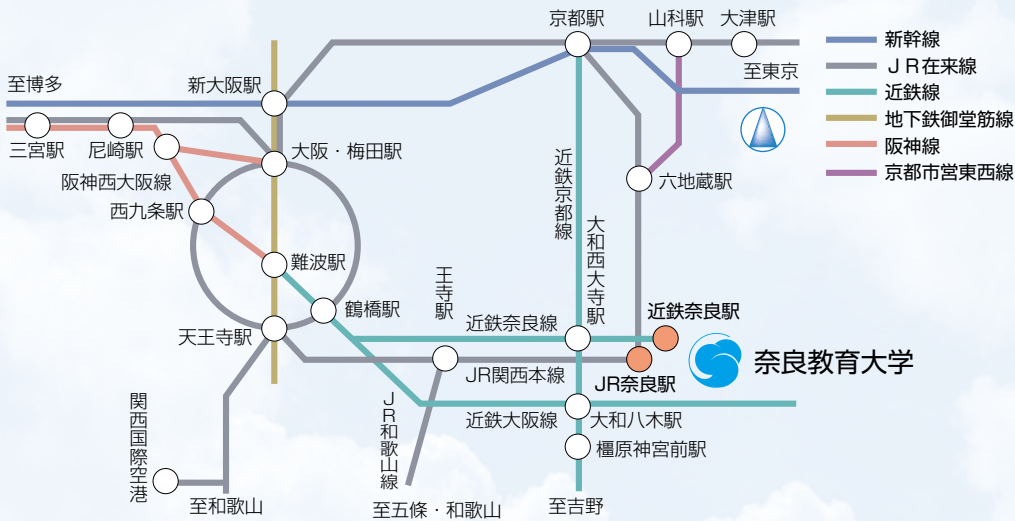
資料請求番号

入学者選抜要項(送料140円)

585670



ケータイ用バーコード



京都から

近鉄京都線で近鉄奈良駅まで特急約35分、急行45分、+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

新大阪から

JR東海道本線で大阪駅へ、JR大阪環状線(外回り)で鶴橋へ、近鉄奈良線(快急・急行)で近鉄奈良まで約60分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

大阪から

JR大阪環状線(外回り)で鶴橋へ、近鉄奈良線(快急・急行)で近鉄奈良まで約50分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

難波から

近鉄奈良線(快急・急行)で近鉄奈良まで約35分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

天王寺から

JR大和路快速で、JR奈良駅まで約30分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

JR大阪環状線(内回り)で鶴橋へ、近鉄奈良線(快急・急行)で近鉄奈良まで約45分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

三宮から

阪神本線(快速急行)「近鉄奈良行き」で近鉄奈良まで約80分+市内循環バスで約10分「高畑町」すぐ

関西国際空港から

空港バスで近鉄奈良駅まで約80分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ



奈良教育大学 入試課

〒630-8528 奈良市高畑町 TEL.0742-27-9126
 ホームページ <http://WWW.nara-edu.ac.jp/>
 携帯電話サイト <http://daigakuic.jp/nara-edu/>



平成22年6月発行
 編集・発行：奈良教育大学入試室
 表紙題字：福光佐今教授